

---

歴史と文化の環境税に関する意識調査  
報 告 書

---

令和2年3月

太宰府市市民生活部税務課



# 目 次

## 第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査仕様と回答者属性	1
(1) 来訪者	1
(2) 市民	2
(3) 駐車場事業者	2
3. 調査項目	3
4. 調査結果利用上の説明	4

## 第 2 章 調査の結果

I 総括	5
II 観光に対する取り組み	7
1. 太宰府市の感想	7
2. 太宰府市の観光施策への意見	8
III 渋滞について	1
1. 市内の交通渋滞の度合い	1
2. 市内の交通渋滞の変化状況	3
3. 市内の交通渋滞による生活への影響の有無	6
4. 交通渋滞解消のための対策	8
IV 歴史と文化の環境税について	9
1. 歴史と文化の環境税の認知状況	9
2. 歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	10
(1) 歴史的文化遺産の保存活用	12
(2) 来訪者へのおもてなし	13
(3) 環境負荷改善（交通渋滞緩和）	14
4. 来訪者に財源を求める取り組みへの評価	15
5. 歴史と文化の環境税の今後のあり方	17
(1) 今後の継続意向	17
(2) 歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価	19
(3) 継続すべき理由	20
(4) 廃止すべき理由	21
(5) 見直すべき内容	22
6. 歴史と文化の環境税への意見	23
7. 特別徴収事務について	27



# 第 1 章 調査の概要



## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

歴史と文化の環境税は、平成15年の制度導入から17年が経過したが、その間に太宰府市の観光動向など社会情勢は変化してきた。そこで、今後の施策に反映させるため、平成29年3月に引き続き、来訪者・市民・駐車場事業者はこの税の取組み等についての考え方をたずねた。

### 2. 調査仕様と回答者属性

#### (1) 来訪者

調査対象：一時的有料駐車場利用者（納税者）

調査地点：太宰府駐車センター(天満宮大駐車場)、奥苑駐車場、九州国立博物館駐車場

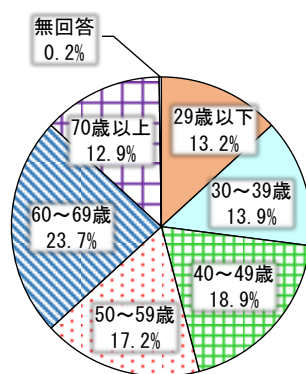
調査方法：対面調査

調査期間：令和元年11月8日(金)～11月10日(日)

回収状況：418件（平日139件、土日279件）

回答者属性

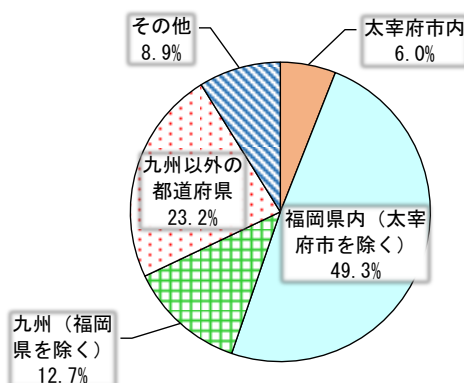
#### ① 年齢（来訪者：問1）



全体 (N=418)

	回答数 (人)
全体	418
29歳以下	55
30～39歳	58
40～49歳	79
50～59歳	72
60～69歳	99
70歳以上	54
無回答	1

#### ② 居住地（来訪者：問2）



全体 (N=418)

	回答数 (人)
全体	418
太宰府市内	25
福岡県内(太宰府市を除く)	206
九州(福岡県を除く)	53
九州以外の都道府県	97
その他	37

# 第1章 調査の概要

## (2) 市民

調査対象：18歳以上の太宰府市民 1,000人

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送法

調査期間：調査票発送 令和元年11月15日(金)

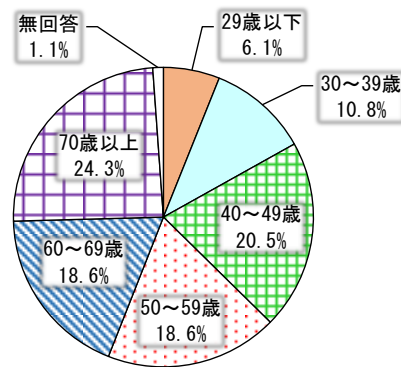
投函締切り 令和元年12月13日(金)、回収は12月26日(木)まで

※お礼ハガキ(未回答者への回答依頼を含む)を全対象者へ11月29日(金)に送付

回収状況：527件(回収率52.7%)

回答者属性

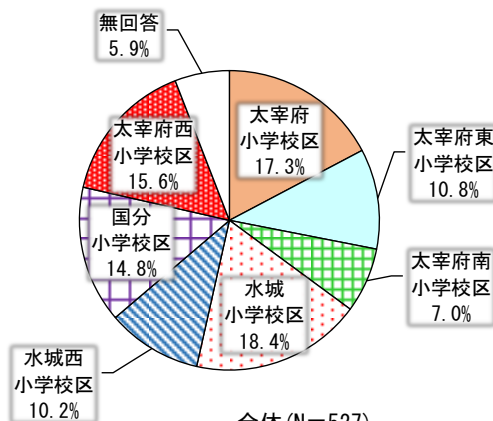
### ① 年齢 (市民:問1)



全体(N=527)

	回答数 (人)
全体	527
29歳以下	32
30~39歳	57
40~49歳	108
50~59歳	98
60~69歳	98
70歳以上	128
無回答	6

### ② 小学校区 (市民:問2)



全体(N=527)

	回答数 (人)
全体	527
太宰府小学校区	91
太宰府東小学校区	57
太宰府南小学校区	37
水城小学校区	97
水城西小学校区	54
国分小学校区	78
太宰府西小学校区	82
無回答	31

## (3) 駐車場事業者

調査対象：指定駐車場事業者(特別徴収義務者) 40事業者

調査方法：郵送法

調査期間：調査票配布 令和元年11月20日(水)

投函締切り 令和元年12月6日(金)

※お礼状(未回答者への回答依頼含む)を全対象者へ12月2日(月)に送付

回収状況：30件(回収率75%)



## 3. 調査項目

分類	設問(来訪者)		設問(市民)		設問(駐車場事業者)		
あなた自身について	問1	年齢	問1	年齢			
	問2	住所(市内、県内、県外)	問2	住まい(小学校区)			
観光に対する取り組み	問3	太宰府市の感想					
	問4	太宰府市の観光施策への意見					
歴史と文化の環境税について	問5	歴史と文化の環境税の認知状況	問3	歴史と文化の環境税の認知状況			
	問6	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	問4	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	問1	歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況	
	問7	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	問5	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	問2	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(歴史的文化遺産の保存活用)	
	問8	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	問6	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	問3	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(来訪者へのおもてなし)	
	問9	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	問7	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	問4	歴史と文化の環境税の使いみちの評価(環境負荷改善)	
	問10	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	問8	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	問5	来訪者に財源を求める取り組みへの評価	
					問6	特別徴収事務について	
	問11	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	問9	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	問7	歴史と文化の環境税の今後の継続意向	
	問12	継続すべき理由	問10	継続すべき理由	問8	継続すべき理由	
	問13	廃止すべき理由	問11	廃止すべき理由	問9	廃止すべき理由	
	問14	見直すべき内容	問12	見直すべき内容	問10	見直すべき内容	
	問15	歴史と文化の環境税への意見	問13	歴史と文化の環境税への意見	問11	歴史と文化の環境税への意見	
	渋滞について			問14	市内の交通渋滞の度合い		
				問15	市内の交通渋滞の変化状況		
				問16	市内の交通渋滞による生活への影響の有無		
		問17	交通渋滞解消のための対策				

#### 4. 調査結果利用上の説明

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合がある。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」としている。
- (6) 二つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の基数（標本数）の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答比率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。
- (7) 駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載としている。また来訪者および市民とのパーセンテージでの比較は行わない。
- (8) P20～P23、P27における「平均評定値」とは、「大いに評価する×4点」「やや評価する×2点」「あまり評価しない×-2点」「全く評価しない×マイナス-4点」で求めた合計を「わからない」「無回答」をのぞいた標本数で除して算出している。-4～4の数値で表され、値が4に近づくほど評価は高く、-4に近づくほど評価が低くなる。

## 第2章 調査の結果



## 第2章 調査の結果

### I 総括

#### 1 観光に関する取り組み《来訪者》

来訪者の太宰府市の感想についてみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」（75.4%）が最も高く、次いで「自然環境や景色が守られていると感じた」（41.1%）、「観光案内や道路が整備されていると感じた」（27.0%）の順となっている。

#### 2 太宰府市の渋滞について《市民》

市民の市内の交通渋滞の度合いについてみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は85.9%となっている。

過去調査結果と比較すると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は前回調査結果より1.0ポイント減少しているが、「いつも感じる」は、年々増加傾向にある。

市民の市内の交通渋滞の変化状況についてみると、「変わらない」（46.5%）が最も高く、次いで「悪化しつつある」（34.9%）の順となっている。

過去調査結果と比較すると、「変わらない」は前回調査結果より7.7ポイント減少しており、「悪化しつつある」は11.4ポイント増加している。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無についてみると、「ある」が50.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（27.1%）、「ない」（18.8%）の順となっている。

過去調査結果と比較すると、「ある」は、年々減少傾向にあるのに対し、「どちらともいえない」、「ない」は、年々増加傾向にある。

#### 3 歴史と文化の環境税について《共通》

歴史と文化の環境税の認知状況についてみると、「知っていた」は、来訪者が17.9%、市民が50.3%となっている。

歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況についてみると、「知っていた」は、来訪者が16.0%、市民が28.3%となっている。駐車場事業者では、30件中26件であった。

歴史と文化の環境税の使いみちで「歴史的文化遺産の保存活用」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が91.4%、市民が85.9%といずれも8割を超え高くなっている。駐車場事業者では、30件中23件であった。

歴史と文化の環境税の使いみちで「来訪者へのおもてなし」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が90.2%、市民が83.3%といずれも8割を超え高くなっている。駐車場事業者では、30件中23件であった。

歴史と文化の環境税の使いみちで「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が88.8%、市民が81.0%といずれも8割を超え高くなっている。駐車場事業者では、30件中19件であった。

来訪者に財源を求める取り組みへの評価についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が87.3%、市民が84.3%といずれも8割を超え高くなっているのに対し、駐車場事業者では、30件中7件と低くなっている。

## 第2章 調査の結果

歴史と文化の環境税の今後の継続意向についてみると、「継続すべきである」は、来訪者が71.8%、市民が65.7%となっているのに対し、駐車場事業者では、30件中8件と低くなっている。

歴史と文化の環境税を継続すべき理由についてみると、来訪者、市民、駐車場事業者とも「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」（来訪者89.3%、市民73.7%、駐車場事業者8件中7件）が最も高くなっており、次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」（来訪者56.3%、市民58.4%、駐車場事業者8件中6件）、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」（来訪者25.7%、市民54.9%、駐車場事業者8件中5件）の順となっている。

また、「廃止すべきである」は、来訪者が1.2%、市民が3.0%となっているのに対し、駐車場事業者は30件中9件と割合が多くなっており、来訪者・市民との差が顕著に表れている。

歴史と文化の環境税を廃止すべき理由についてみると、来訪者は「使いみちによる効果が見えづらい」と「まちづくりのためには、税で徴収するよりも寄付を募るほうがよい」がともに5件中2件ずつとなっている。また、市民は「使いみちによる効果が見えづらい」（16件中10件）が最も多くなっており、次いで「課税の理由がわかりづらい」（同8件）の順となっている。駐車場事業者は「来訪者に課税することに反対である」と「使いみちによる効果が見えづらい」がともに9件中6件ずつとなっている。

歴史と文化の環境税の見直すべき内容についてみると、来訪者、市民とも「税の使いみちを見直す」（来訪者77.1%、市民63.0%）が最も高くなっており、来訪者は次いで「税額を下げる」（16.2%）となっており、市民は次いで「駐車台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」（20.5%）の順となっている。駐車場事業者は「税額を下げる」（11件中8件）が最も多くなっており、次いで「駐車台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」（同6件）の順となっている。

駐車場事業者が「歴史と文化の環境税」の特別徴収事務（特別徴収）についてどのように思うかについてみると、「ほとんど問題ない」（30件中16件）が最も多くなっており、次いで「事務が煩雑である」（同7件）の順となっている。

Ⅱ 観光に対する取り組み

1. 太宰府市の感想

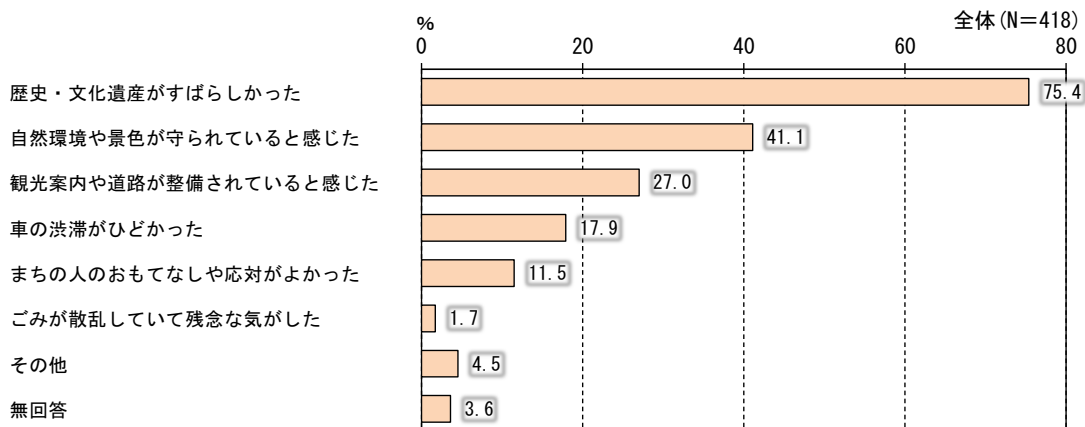
◆あなたは太宰府に来て、どのような感想をもちましたか。(来訪者：問3)

来訪者の太宰府市の感想についてみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」(75.4%)が最も高く、次いで「自然環境や景色が守られていると感じた」(41.1%)、「観光案内や道路が整備されていると感じた」(27.0%)の順となっている。

年齢別にみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」は40～49歳(82.3%)が、「自然環境や景色が守られていると感じた」は70歳以上(48.1%)が、それぞれ他の年齢より高くなっている。

居住地別にみると、「歴史・文化遺産がすばらしかった」は九州(福岡県を除く)(84.9%)が、「自然環境や景色が守られていると感じた」は福岡県内(太宰府市を除く)(49.5%)が、それぞれ他の居住地より高くなっている。なお、「車の渋滞がひどかった」は、福岡県内(太宰府市を除く)(23.8%)が最も高くなっている。

太宰府市の感想



太宰府市の感想 (年齢別・居住地別)

		サンプル数	歴史・文化遺産がすばらしかった (%)	自然環境や景色が守られていると感じた (%)	観光案内や道路が整備されていると感じた (%)	よてまかなつたのちや人の対応がよかった (%)	しいご残が散乱気がした (%)	か車つた渋滞がひど (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		418	75.4	41.1	27.0	11.5	1.7	17.9	4.5	3.6
年齢別	29歳以下	55	67.3	43.6	32.7	16.4	3.6	10.9	3.6	1.8
	30～39歳	58	79.3	34.5	22.4	5.2	-	24.1	1.7	3.4
	40～49歳	79	82.3	38.0	29.1	10.1	-	16.5	1.3	-
	50～59歳	72	76.4	40.3	33.3	12.5	2.8	20.8	5.6	5.6
	60～69歳	99	74.7	43.4	26.3	11.1	1.0	20.2	5.1	6.1
	70歳以上	54	68.5	48.1	16.7	14.8	1.9	11.1	11.1	3.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-
居住地別	太宰府市内	25	72.0	40.0	8.0	4.0	4.0	16.0	8.0	-
	福岡県内(太宰府市を除く)	206	74.8	49.5	27.2	11.7	2.9	23.8	1.9	3.9
	九州(福岡県を除く)	53	84.9	35.8	37.7	15.1	-	18.9	3.8	3.8
	九州以外の都道府県	97	72.2	30.9	25.8	10.3	-	8.2	9.3	5.2
	その他	37	75.7	29.7	27.0	13.5	-	10.8	5.4	-

2. 太宰府市の観光施策への意見

◆太宰府市の観光施策について、もっと充実させたほうが良いと思う取り組みや、縮小・削減すべき無駄だと感じたことなど、お気づきの点がありましたらお聞かせください。(来訪者：問4)

太宰府市の観光施策について全体で138件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

太宰府市の観光施策への意見(主な意見)	年齢	居住地
<b>◆交通環境の改善など(32件)</b>		
太宰府に来るまでの道路が狭く、渋滞があった。もっと道幅を広く整備できるとスムーズに移動できると思うので、ぜひ整備してほしい。	60～69歳	九州以外の都道府県
車の渋滞の解消。車道・歩道の区別をしてほしい。道の拡張は難しいだろうか。	60～69歳	太宰府市内
交通整理(交差点)が充実していて、良いと思った。	50～59歳	九州以外の都道府県
遊歩道があれば良い。車が通れないようにすれば良い。	60～69歳	九州以外の都道府県
車が駐車場にスムーズに入れるようにしてほしい(渋滞している)。	60～69歳	九州(福岡県を除く)
標識をわかりやすくしてほしい(道に迷ったことがある)。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
<b>◆観光資源の整備など(16件)</b>		
歴史をもっと身近に感じられるような取り組みがあれば良いと思う。	50～59歳	その他
九州国立博物館と観光地が隣接しているので、どちらも楽しめて良い。それも太宰府に来る楽しみ、利点だ。	40～49歳	九州以外の都道府県
観光案内が充実していて楽しかった。	60～69歳	九州(福岡県を除く)
観光の開発はもっとした方が良いと思う(令和の時代の)。	50～59歳	九州(福岡県を除く)
歴史に対するPR、アピールが足りないと感じる。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
<b>◆観光地の施設整備など(69件)</b>		
ごみ箱を増やしてほしい。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
食事ができる場所をわかりやすく表してほしい。	70歳以上	福岡県内(太宰府市を除く)
案内板(説明書と地図)をもっと多くしてほしい。	50～59歳	九州以外の都道府県
トイレを増やしてほしい。休むスペースがほしい。	60～69歳	九州(福岡県を除く)
車イスの人が参道までスムーズに行けるようにしてほしい。お年寄り、足が痛い人が多いので、駐車場に車イスがあると良いと思う。	70歳以上	九州(福岡県を除く)
宿泊施設が少ない。	30～39歳	九州以外の都道府県
オムツ替えのできる場所を少し増やしてほしい。駐車場料金をもう少し安くしてほしい。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
土産店の増設。	40～49歳	太宰府市内
免税店、薬局が景観に向いていない。けばけばしい感じ。呼び込みも良いと感じない。場所にマッチしていない。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
境内では座る場所がなく、年寄りには困る。	70歳以上	九州以外の都道府県
駐車場が少ない。	70歳以上	九州以外の都道府県
<b>◆太宰府市の観光活性化などについて(5件)</b>		
根強いファンを大切にされた方が良い(一見さん＝海外の人よりも国内の人を)。	40～49歳	福岡県内(太宰府市を除く)
令和を機に、もっと全国にアピールしてほしい。	40～49歳	九州(福岡県を除く)
外国人の対応ができていない。店の人が日本語しか話せない。	30～39歳	九州以外の都道府県
<b>◆その他(16件)</b>		
今のまがが良いと思う。	29歳以下	福岡県内(太宰府市を除く)
信号待ちや、トイレでのマナーが悪い外国人が多くて嫌だ。	30～39歳	福岡県内(太宰府市を除く)
海外の人が多すぎる。神聖な場が壊れることも感じる。	30～39歳	太宰府市内



### Ⅲ 渋滞について

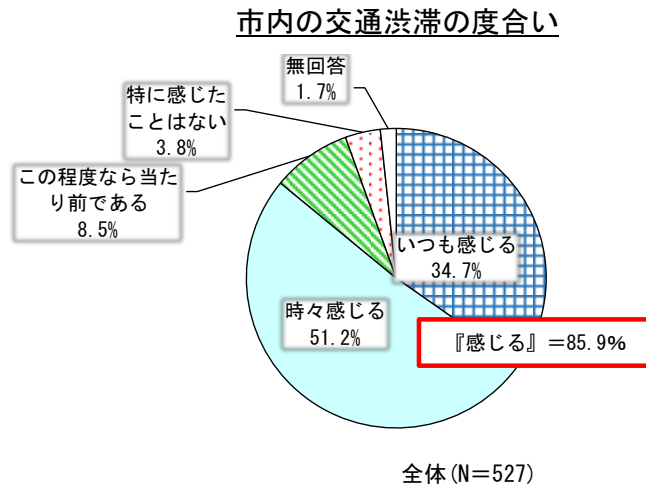
#### 1. 市内の交通渋滞の度合い

◆太宰府市内で生活する中で、交通渋滞を感じることはありますか。(市民：問 14)

市民の市内の交通渋滞の度合いについてみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は85.9%となっている。

年齢別にみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は30～39歳（93.0%）が最も高く、次いで50～59歳（90.9%）の順となっている。

小学校区別にみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は太宰府小学校区（94.5%）が最も高くなっており、一方、「水城西小学校区」（79.6%）が最も低くなっている。



#### 市内の交通渋滞の度合い（年齢別・小学校区別）

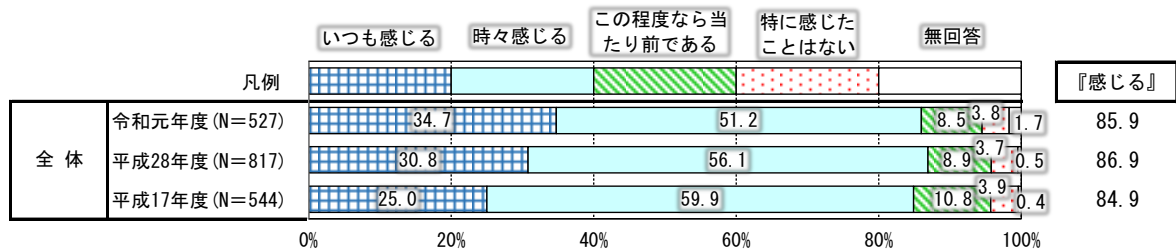
単位：%

	サンプル数	いつも感じる	時々感じる	この程度なら当たり前である	特に感じたことはない	無回答	『感じる』	
全体	527	34.7	51.2	8.5	3.8	1.7	85.9	
年齢別	29歳以下	32	25.0	53.1	12.5	9.4	-	78.1
	30～39歳	57	49.1	43.9	-	3.5	3.5	93.0
	40～49歳	108	32.4	53.7	11.1	0.9	1.9	86.1
	50～59歳	98	32.7	58.2	5.1	1.0	3.1	90.9
	60～69歳	98	34.7	51.0	9.2	4.1	1.0	85.7
	70歳以上	128	35.2	46.9	10.9	7.0	-	82.1
	無回答	6	16.7	50.0	16.7	-	16.7	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	91	65.9	28.6	2.2	3.3	-	94.5
	太宰府東小学校区	57	40.4	50.9	7.0	-	1.8	91.3
	太宰府南小学校区	37	29.7	51.4	18.9	-	-	81.1
	水城西小学校区	97	22.7	61.9	9.3	5.2	1.0	84.6
	水城西小学校区	54	22.2	57.4	9.3	9.3	1.9	79.6
	国分小学校区	78	32.1	53.8	7.7	5.1	1.3	85.9
	太宰府西小学校区	82	29.3	54.9	11.0	3.7	1.2	84.2
	無回答	31	19.4	58.1	9.7	-	12.9	77.5

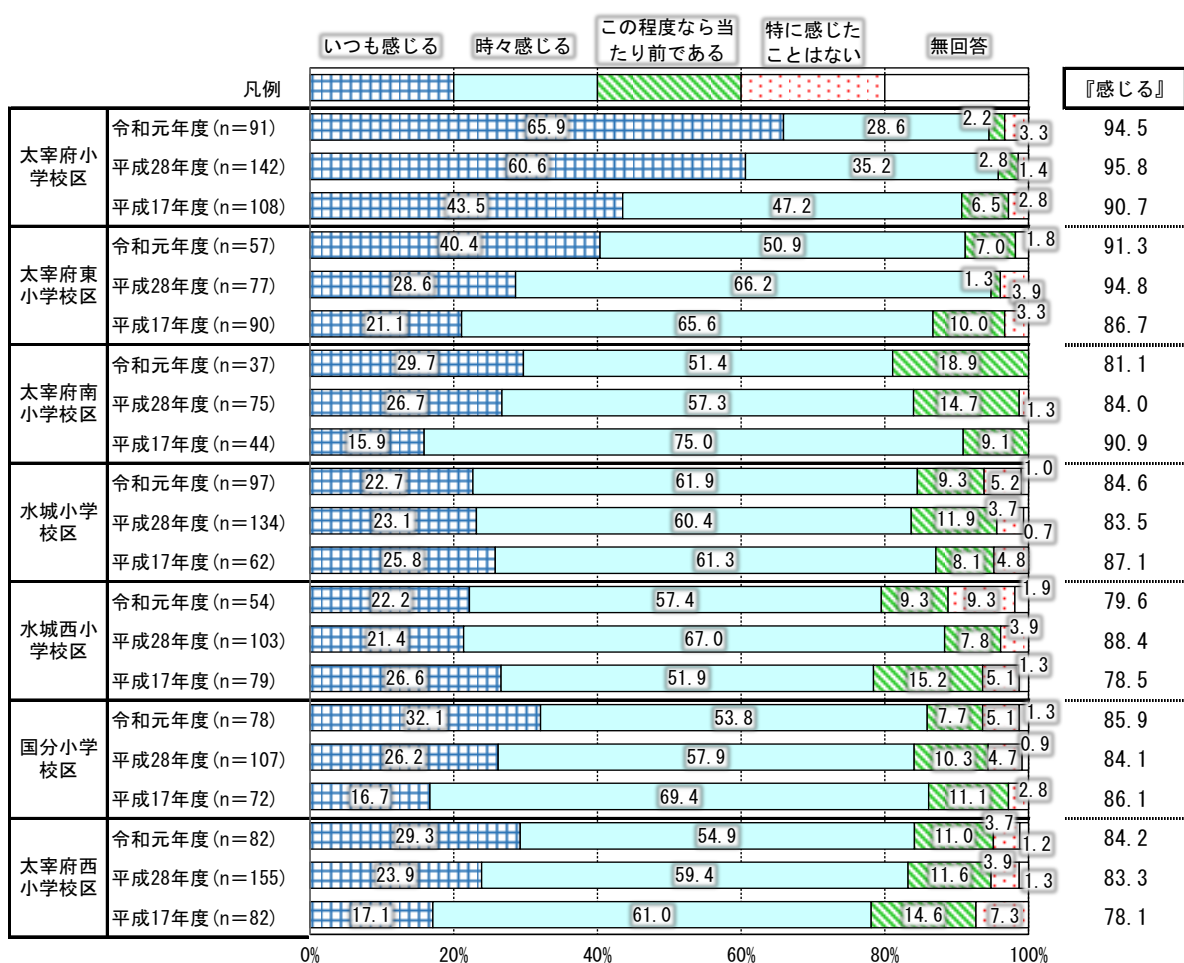
過去調査結果と比較すると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は前回調査結果より1.0ポイント減少しているが、「いつも感じる」は、年々増加傾向にある。

小学校区別にみると、『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）は太宰府小学校区（94.5%）が最も高くなっており、7校区のうち3校区が前回調査結果より増加している。また、水城西小学校は『感じる』（「いつも感じる」と「時々感じる」の合計）が前回調査結果より8.8ポイント減少している。

### 市内の交通渋滞の度合い（時系列比較）



### 市内の交通渋滞の度合い（小学校区別時系列比較）



## 2. 市内の交通渋滞の変化状況

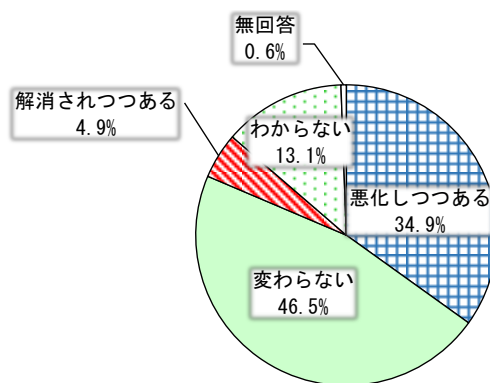
◆ここ2、3年、市内の交通渋滞の程度はどのように変化していると思いますか。(市民：問15)

市民の市内の交通渋滞の変化状況についてみると、「変わらない」(46.5%)が最も高く、次いで「悪化しつつある」(34.9%)の順となっている。

年齢別にみると、「変わらない」は29歳以下(59.4%)が、「悪化しつつある」は70歳以上(40.6%)が、それぞれ他の年齢より高くなっている。

小学校区別にみると、「変わらない」は国分小学校区(51.3%)が、「悪化しつつある」は太宰府小学校区(49.5%)が、それぞれ他の小学校区より高くなっている。

市内の交通渋滞の変化状況



全体 (N=527)

市内の交通渋滞の変化状況 (年齢別・小学校区別)

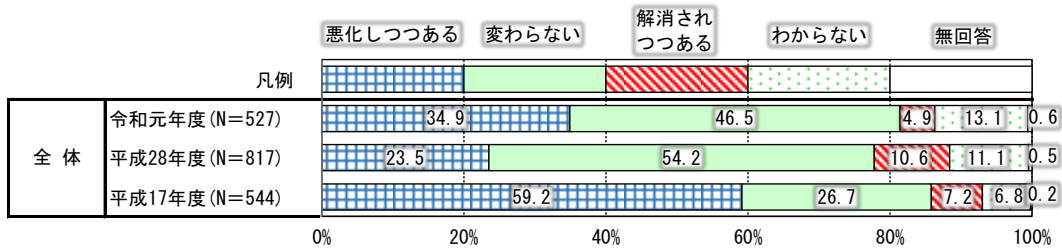
単位：%

	サンプル数	悪化しつつある	変わらない	解消されつつある	わからない	無回答
全体	527	34.9	46.5	4.9	13.1	0.6
年齢別	29歳以下	15.6	59.4	9.4	15.6	-
	30~39歳	57	33.3	52.6	1.8	12.3
	40~49歳	108	32.4	43.5	6.5	17.6
	50~59歳	98	39.8	39.8	4.1	15.3
	60~69歳	98	32.7	52.0	5.1	9.2
	70歳以上	128	40.6	43.8	3.9	10.9
	無回答	6	33.3	50.0	16.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	91	49.5	39.6	5.5	4.4
	太宰府東小学校区	57	36.8	50.9	3.5	8.8
	太宰府南小学校区	37	35.1	40.5	13.5	10.8
	水城西小学校区	97	28.9	47.4	4.1	18.6
	水城西小学校区	54	33.3	46.3	3.7	16.7
	国分小学校区	78	33.3	51.3	3.8	11.5
	太宰府西小学校区	82	32.9	45.1	6.1	15.9
無回答	31	19.4	54.8	-	22.6	

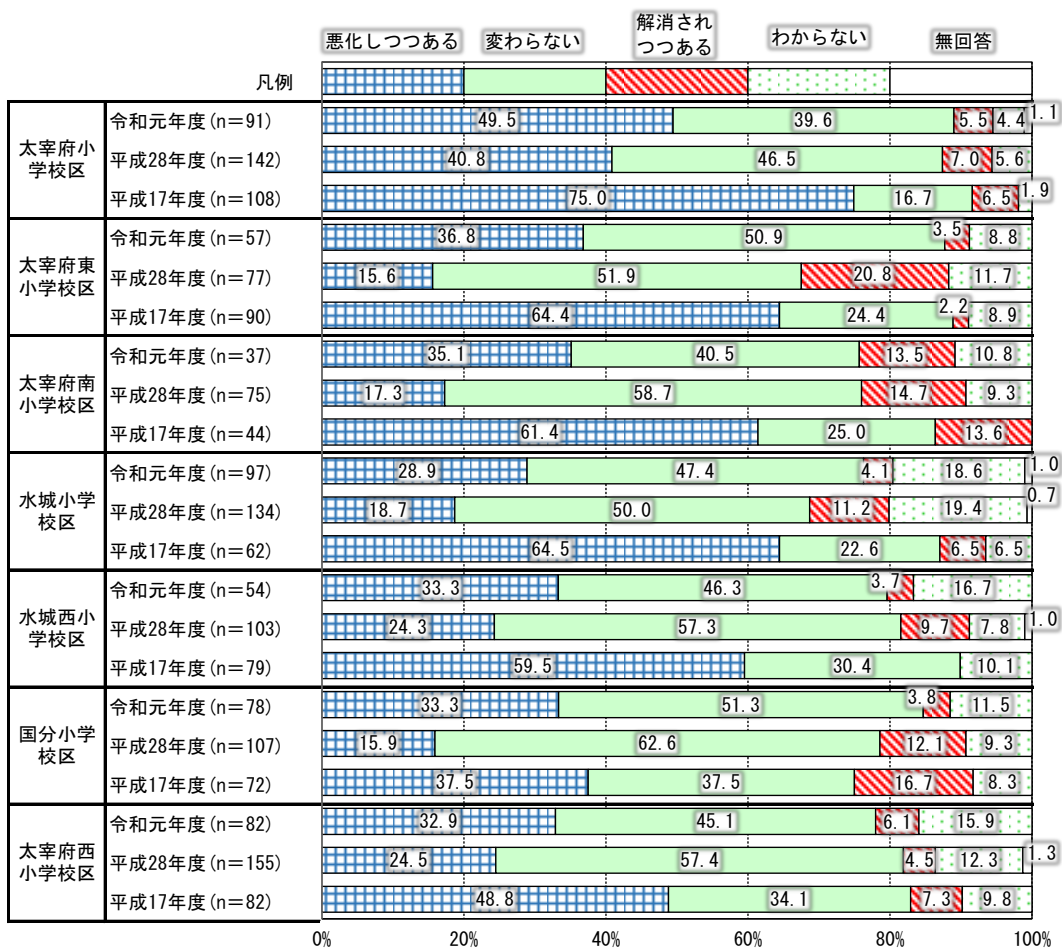
過去調査結果と比較すると、「変わらない」は前回調査結果より 7.7 ポイント減少しており、「悪化しつつある」は 11.4 ポイント増加している。

小学校区別にみると、「変わらない」は、すべての小学校区において前回調査結果より減少しており、特に太宰府南小学校区では 18.2 ポイント減少している。また、「悪化しつつある」は、すべての小学校区において前回調査結果より増加しており、特に太宰府東小学校区では 21.2 ポイント増加している。

### 市内の交通渋滞の変化状況（時系列比較）



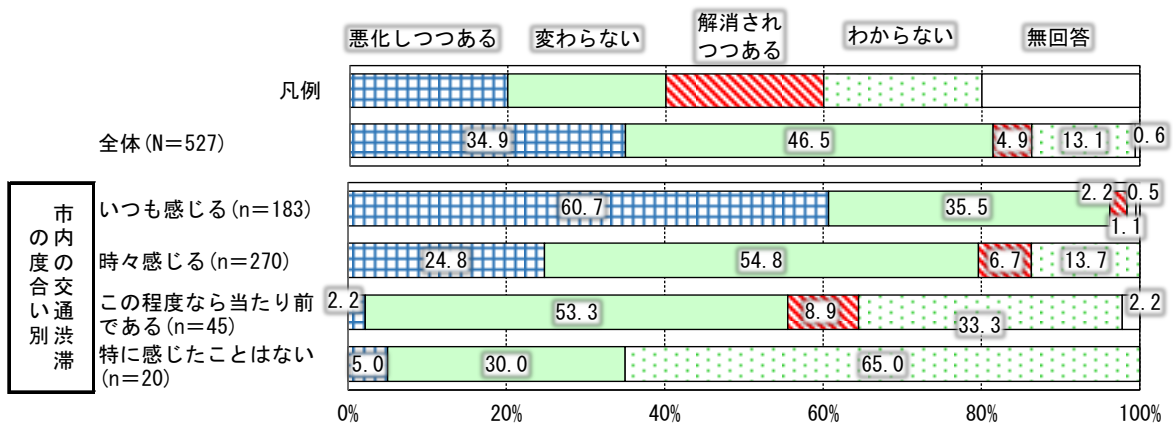
### 市内の交通渋滞の変化状況（小学校区時系列比較）



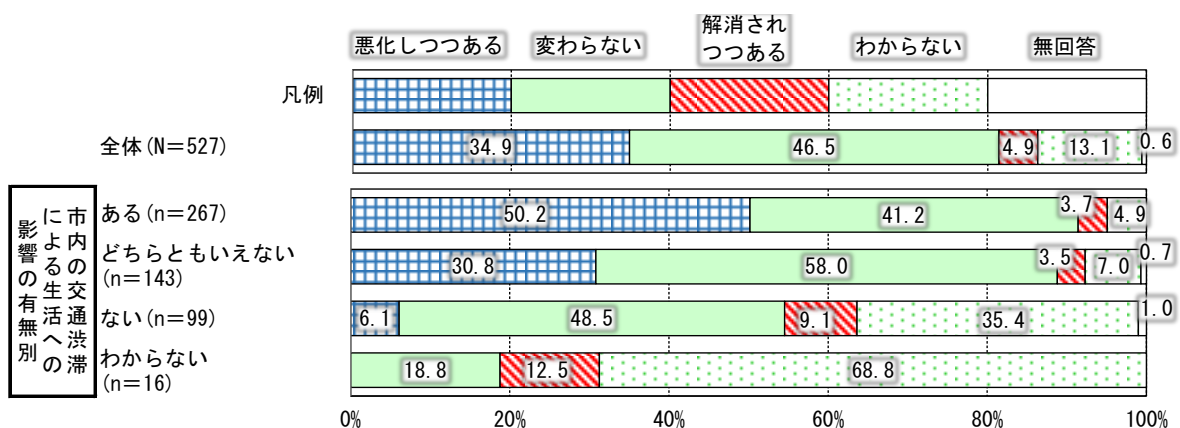
市内の交通渋滞の度合い別についてみると、「変わらない」と回答した人のうち、渋滞を時々感じると回答した人（54.8%）が最も高くなっており、次いで渋滞をいつも感じると回答した人（35.5%）の順となっている。また、「悪化しつつある」と回答した人のうち、渋滞をいつも感じると回答した人（60.7%）が最も高くなっており、次いで渋滞を時々感じると回答した人（24.8%）の順となっている。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無別についてみると、「変わらない」と回答した人のうち、どちらともいえないと回答した人（58.0%）が最も高くなっており、次いで生活への影響がないと回答した人（48.5%）の順となっている。また「悪化しつつある」と回答した人のうち、生活への影響があると回答した人（50.2%）が最も高くなっており、次いでどちらともいえないと回答した人（30.8%）の順となっている。

### 市内の交通渋滞の変化状況（市内の交通渋滞の度合い別）



### 市内の交通渋滞の変化状況（市内の交通渋滞による生活への影響の有無別）



### 3. 市内の交通渋滞による生活への影響の有無

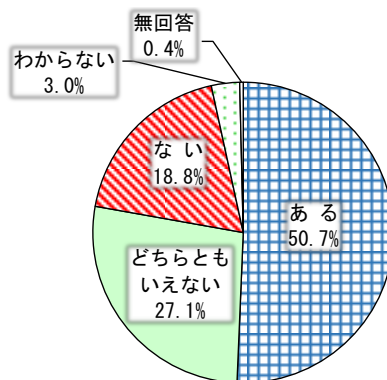
◆多くの観光客が自動車やバスを利用して訪れていますが、あなたは、観光客による交通渋滞で、生活上や業務上の支障を感じることはありますか。(市民：問16)

市内の交通渋滞による生活への影響の有無についてみると、「ある」が50.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(27.1%)、「ない」(18.8%)の順となっている。

年齢別にみると、すべての年齢層で「ある」が最も高くなっている。次いで、29歳以下を除くすべての年齢において「どちらともいえない」、「ない」の順となっている。なお、29歳以下は「ない」(31.3%)のほうが「どちらともいえない」(21.9%)より高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区を除くすべての小学校区で「ある」が最も高くなっており、次いで「どちらともいえない」の順となっている。なお、水城西小学校区は「どちらともいえない」(38.9%)、「ある」(31.5%)の順となっている。また、特に太宰府小学校区では「ある」が76.9%と7割を超え、他の小学校区より高くなっている。

市内の交通渋滞による生活への影響の有無



全体(N=527)

市内の交通渋滞による生活への影響の有無(年齢別・小学校区別)

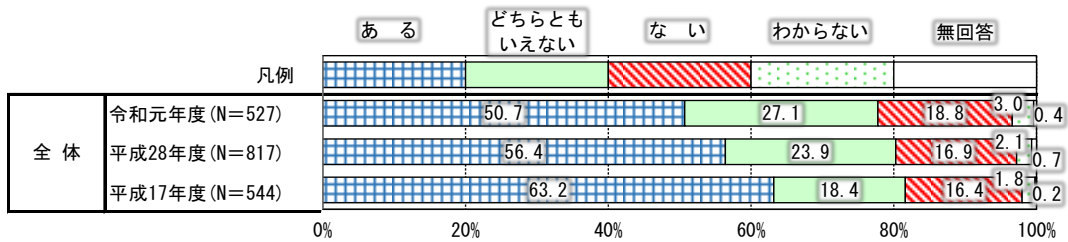
		単位：%					
		サンプル数	ある	どちらともいえない	ない	わからない	無回答
全体		527	50.7	27.1	18.8	3.0	0.4
年齢別	29歳以下	32	43.8	21.9	31.3	3.1	-
	30~39歳	57	59.6	28.1	8.8	1.8	1.8
	40~49歳	108	49.1	29.6	17.6	3.7	-
	50~59歳	98	55.1	23.5	16.3	4.1	1.0
	60~69歳	98	54.1	26.5	18.4	1.0	-
	70歳以上	128	43.8	29.7	23.4	3.1	-
	無回答	6	50.0	16.7	16.7	16.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	91	76.9	12.1	8.8	2.2	-
	太宰府東小学校区	57	59.6	22.8	17.5	-	-
	太宰府南小学校区	37	59.5	21.6	16.2	2.7	-
	水城西小学校区	97	47.4	35.1	13.4	4.1	-
	水城西小学校区	54	31.5	38.9	24.1	5.6	-
	国分小学校区	78	46.2	28.2	23.1	1.3	1.3
	太宰府西小学校区	82	40.2	30.5	26.8	2.4	-
	無回答	31	29.0	29.0	29.0	9.7	3.2



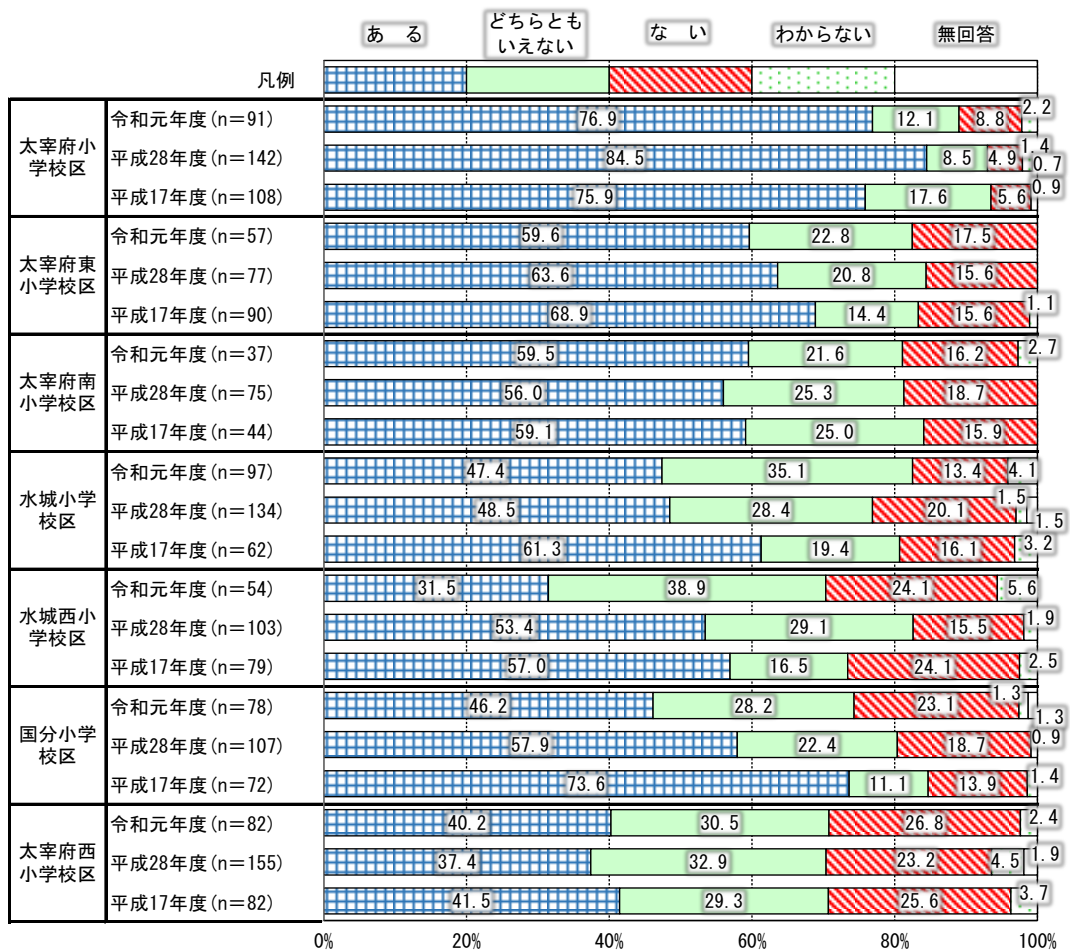
過去調査結果と比較すると、「ある」は、年々減少傾向にあるのに対し、「どちらともいえない」、「ない」は、年々増加傾向にある。

小学校区別にみると、「ある」は、前回調査結果より7校区のうち2校区が増加しており、5校区が減少している。特に水城西小学校は21.9ポイント減少している。

### 市内の交通渋滞による生活への影響の有無（時系列比較）



### 市内の交通渋滞による生活への影響の有無（小学校区別時系列比較）



#### 4. 交通渋滞解消のための対策

◆交通渋滞解消のために今後、どのような対策をとったらよいと考えますか。(市民：問17)

太宰府市内の交通渋滞解消策について、市民から全体で259件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

交通渋滞解消のための対策(主な意見)	年齢	小学校区
<b>◆公共交通機関利用やパークアンドライドの促進など(58件)</b>		
国と県に要望して、博多駅、空港からのモノレールがあったら車に乗れない人が早く来られて、車も利用しないで良いのではないかと思う。	70歳以上	太宰府小学校区
パークアンドライド。それに伴うシャトルバスの運行。	40～49歳	太宰府東小学校区
観光地から離れた場所の駐車場整備と、レンタサイクルの充実(乗る場所、返却場所が同じでなくてもOK)。台数の確保。	30～39歳	国分小学校区
まぼろば号をもっとわかりやすく、使いやすくした方が良いと思う。	50～59歳	水城小学校区
電車、バスの公共交通機関へのシフトはできないか(これらの輸送力増強を前提として)。	50～59歳	太宰府小学校区
公共交通を使うよう、他市・他県の人々にもっとPRすべき。	50～59歳	水城西小学校区
西鉄都府楼前駅の所の高架下をもっと利用できれば良いと思う。車の駐車場で使用できれば、電車を利用して行動できる。令和になって太宰府が有名になったのは嬉しいが、車の渋滞を見とらざりする。	50～59歳	水城小学校区
地下鉄延長などの交通インフラ整備。	30～39歳	太宰府南小学校区
<b>◆道路や駐車場の新設・拡充、渋滞情報配信など利便性向上(112件)</b>		
下大利～二日市駅間の立体交差化。太宰府線の立体交差化。太宰府天満宮付近の道路の拡幅。	50～59歳	太宰府東小学校区
バイパスをつくる。	60～69歳	水城西小学校区
太宰府天満宮の催しがある時は、事前に渋滞状況等を発信する。太宰府天満宮の催し等を事前に公開表示する(関屋交差点等に)。	70歳以上	国分小学校区
踏切を越えられる橋や地下道の建設。	30～39歳	水城小学校区
年末年始の臨時駐車場で、マミーズだった駐車場を使うことは可能だろうか。	50～59歳	国分小学校区
警備員を増やす。駐車場を増やす。	30～39歳	太宰府西小学校区
10～20年、それ以上の長期計画を検討してもらいたい。太宰府に住んで30年以上になるが、交通渋滞は変化なしと感じる。道路幅の拡充や川の空間利用など、景観などを維持しながら行ってほしい。	60～69歳	太宰府東小学校区
特に天満宮や坂本八幡宮に来る観光客は車両で来訪する。この12月からスマホ等のながら運転に対する罰則も厳しくなっているので、例えば、高速道路と同じようなパーキングの渋滞状況を表示する看板等はあるのもいいと思う。	40～49歳	水城小学校区
五条交差点の改良(信号機を含む)。	40～49歳	太宰府東小学校区
もっと交通整理をしてくれる人を増やしてほしい。	60～69歳	国分小学校区
<b>◆通行規制や道路利用ルールの変更など(39件)</b>		
マイカーの流入制限、もしくは混雑税のような新しい税体系を確立することにより、車の総量規制を導入すべきである。	50～59歳	水城小学校区
大型バスや大型トラックの進入を制限する。	29歳以下	太宰府小学校区
生活道路の確保に注力し、進入禁止及び一方通行等の措置を研究して、円滑な市民生活も確保してほしい。	70歳以上	太宰府小学校区
年末年始期間中に行っている交通規制を参考に、土日祝日などに一部交通規制を行ってどうか。	70歳以上	太宰府小学校区
<b>◆その他(50件)</b>		
特に渋滞を感じることはない。年始の渋滞は解消される必要はないと思う。	30～39歳	太宰府小学校区
環境税の増額。車利用の抑制にもなる。	70歳以上	太宰府西小学校区
県外から天満宮へ来てくれるのは嬉しいことだが、渋滞が酷く、用事があって市役所に行く時も大変困っている。観光客をもてなすことは大事だが、市民生活のことをしっかり考えてもらいたい。	29歳以下	水城西小学校区
案内電光表示板等の設置。観光客のモラルの是正の対策。	70歳以上	太宰府西小学校区
正月やイベントがある時、出勤時間帯などはどこも同じ。自分が避けるしかない。西鉄都府楼前駅周辺に駐車場を増やせば増やし、坂本八幡宮・政庁跡～観世音寺～参道～天満宮と散策コースを勤める(徒歩)。カフェも結構あるし、政庁通り沿いの各店にも地域おこしを意識してもらおう。	60～69歳	太宰府東小学校区



#### IV 歴史と文化の環境税について

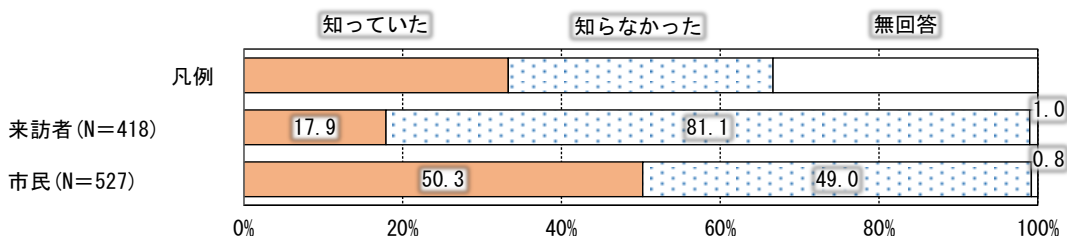
##### 1. 歴史と文化の環境税の認知状況

◆太宰府市では、歴史的文化遺産の保全整備、観光施策及び環境保全のための財源の確保として、一時有料駐車場を利用する人に対して、平成15年から法定外税（太宰府市独自の税）である「歴史と文化の環境税」を導入しています。あなたは、この税金のことを知っていましたか。  
（来訪者：問5、市民：問3）

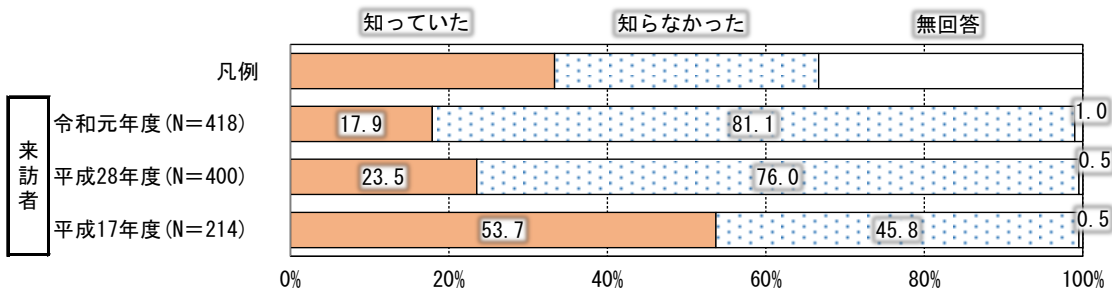
歴史と文化の環境税の認知状況についてみると、「知っていた」は、来訪者が17.9%、市民が50.3%となっている。

前回調査結果と比較すると、「知っていた」は、来訪者は5.6ポイント減少しており、市民は1.2ポイント増加している。

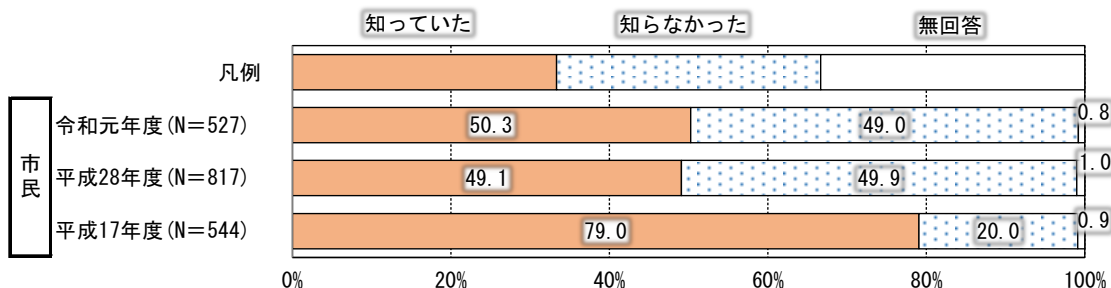
歴史と文化の環境税の認知状況（来訪者・市民）



歴史と文化の環境税の認知状況（来訪者時系列比較）



歴史と文化の環境税の認知状況（市民時系列比較）



## 2. 歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況

◆あなたは、この税が上記のような「まちづくり」に使われていることを知っていましたか。

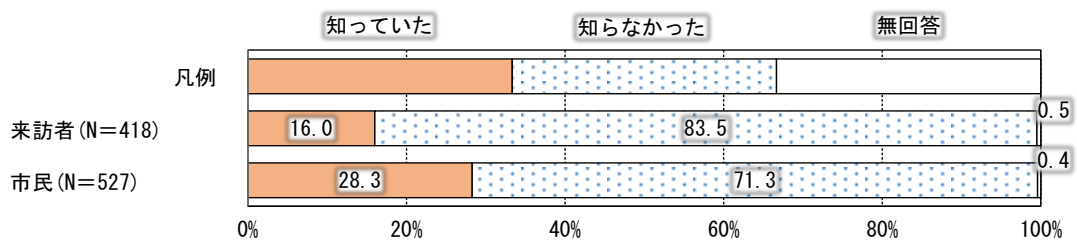
(来訪者：問6、市民：問4、駐車場事業者：問1)

歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況についてみると、「知っていた」は、来訪者が16.0%、市民が28.3%となっている。また駐車場事業者は「知っていた」が30件中26件となっており、「知らなかった」が同3件となっている。

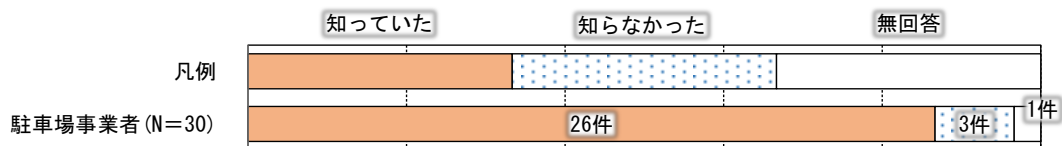
前回調査結果と比較すると、「知っていた」は、来訪者は4.5ポイント減少しており、市民は0.2ポイント減少している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

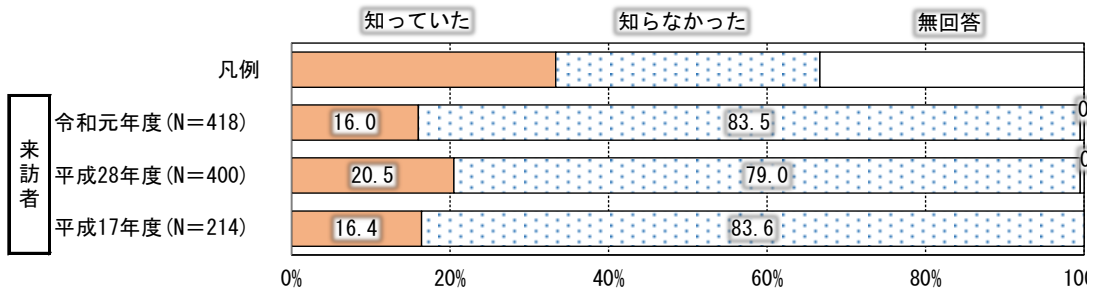
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（来訪者・市民）



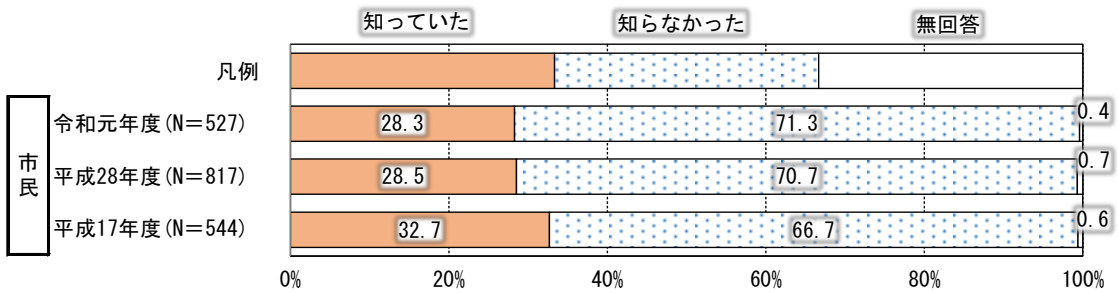
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（駐車場事業者）



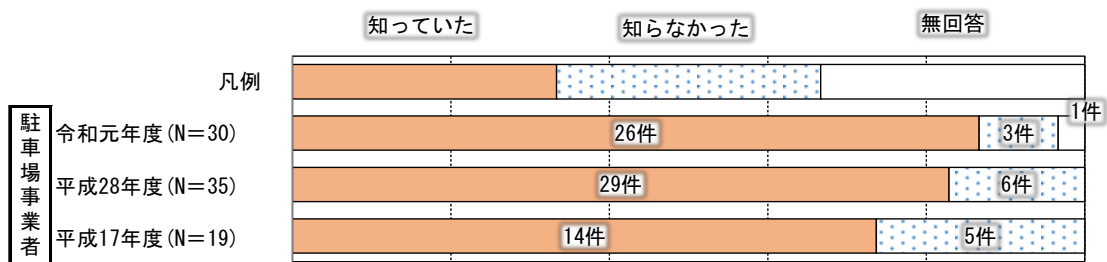
歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（来訪者時系列比較）



歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（市民時系列比較）



歴史と文化の環境税の使いみちの認知状況（駐車場事業者時系列比較）



### 3. 歴史と文化の環境税の使いみちの評価

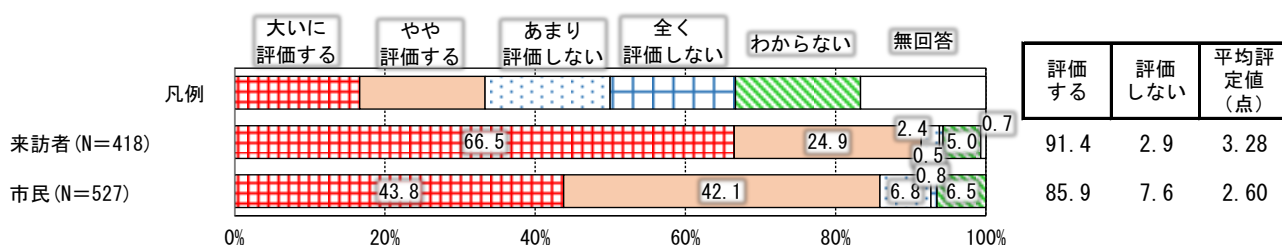
#### (1) 歴史的文化遺産の保存活用

◆あなたは、この税が「歴史的文化遺産の保存活用」に使われていることについて、どのように思いますか。(来訪者：問7、市民：問5、駐車場事業者：問2)

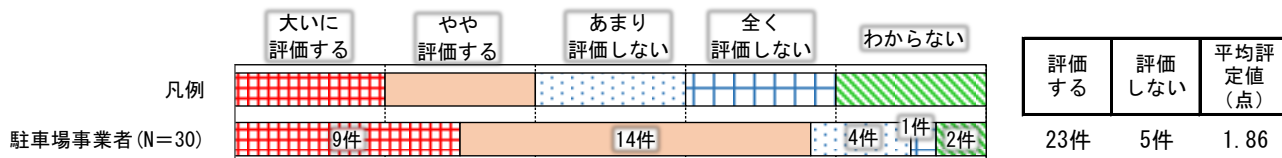
歴史と文化の環境税の使いみちで「歴史的文化遺産の保存活用」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が91.4%、市民が85.9%といずれも8割を超え高くなっている。また駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が30件中23件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同5件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

歴史的文化遺産の保存活用（来訪者・市民）



歴史的文化遺産の保存活用（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

#### 《参考》 歴史的文化遺産の保存活用 [平成28年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	400	60.3	26.3	1.0	1.3	10.8	0.5	86.6	2.3
市民 (%)	817	37.5	47.6	7.5	1.6	5.5	0.4	85.1	9.1
駐車場事業者 (件数)	35	8	12	8	5	2	-	20	13

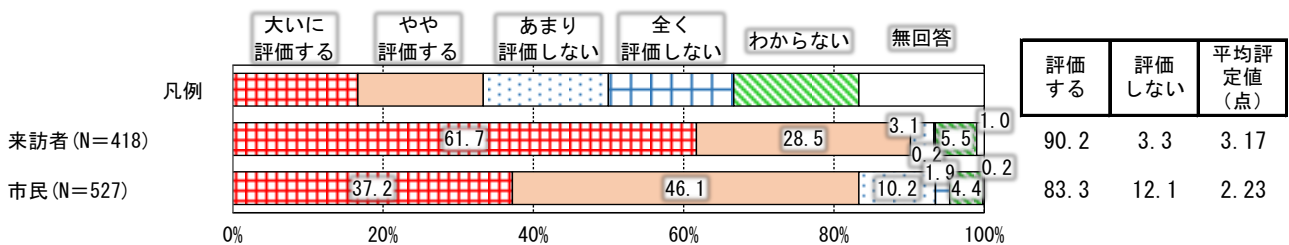
(2) 来訪者へのおもてなし

◆あなたは、この税が「来訪者へのおもてなし」に使われていることについて、どのように思いますか。(来訪者：問8、市民：問6、駐車場事業者：問3)

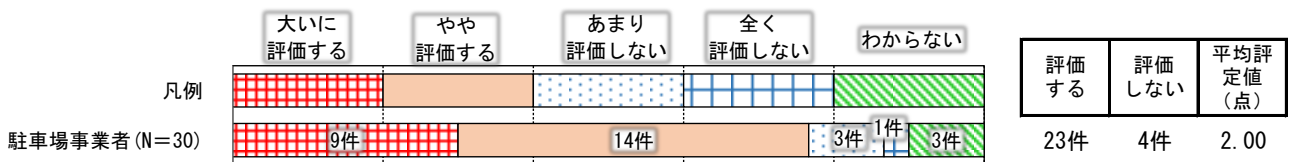
歴史と文化の環境税の使いみちで「来訪者へのおもてなし」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が90.2%、市民が83.3%といずれも8割を超え高くなっている。また駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が30件中23件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同4件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

来訪者へのおもてなし（来訪者・市民）



来訪者へのおもてなし（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

《参考》 来訪者へのおもてなし [平成28年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	400	57.3	27.3	3.0	0.8	11.3	0.5	84.6	3.8
市民 (%)	817	32.7	47.2	12.2	3.1	3.9	0.9	79.9	15.3
駐車場事業者 (件数)	35	6	14	7	7	1	-	20	14

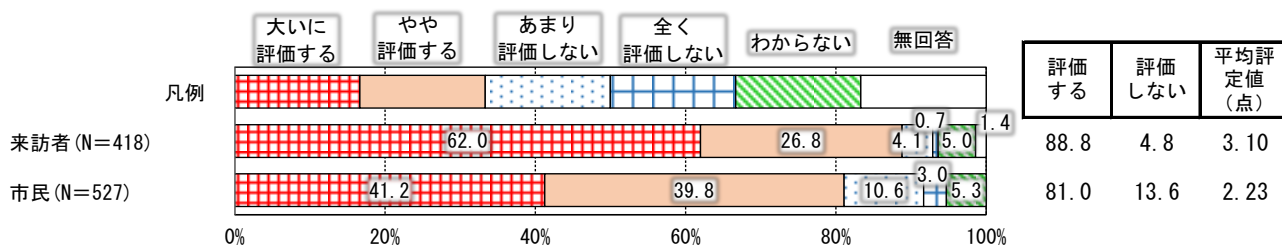
### (3) 環境負荷改善（交通渋滞緩和）

◆あなたは、この税が「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」に使われていることについて、どのように思いますか。（来訪者：問9、市民：問7、駐車場事業者：問4）

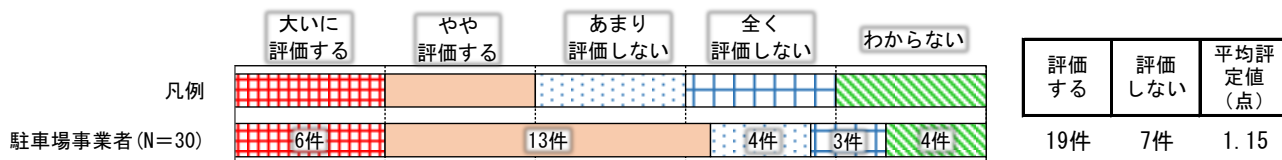
歴史と文化の環境税の使いみちで「環境負荷改善（交通渋滞対策を含む）」についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が88.8%、市民が81.0%といずれも8割を超え高くなっている。また駐車場事業者は『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が30件中19件となっており、『評価しない』（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同7件となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

#### 環境負荷改善（交通渋滞緩和）（来訪者・市民）



#### 環境負荷改善（交通渋滞緩和）（駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

#### 《参考》 環境負荷改善（交通渋滞緩和） [平成28年度結果]

	サンプル数	大いに評価する	やや評価する	あまり評価しない	全く評価しない	わからない	無回答	評価する	評価しない
来訪者 (%)	400	54.3	27.8	5.0	2.0	11.0	-	82.1	7.0
市民 (%)	817	36.4	40.1	13.3	4.3	5.5	0.4	76.5	17.6
駐車場事業者 (件数)	35	7	12	10	3	3	-	19	13

#### 4. 来訪者に財源を求める取り組みへの評価

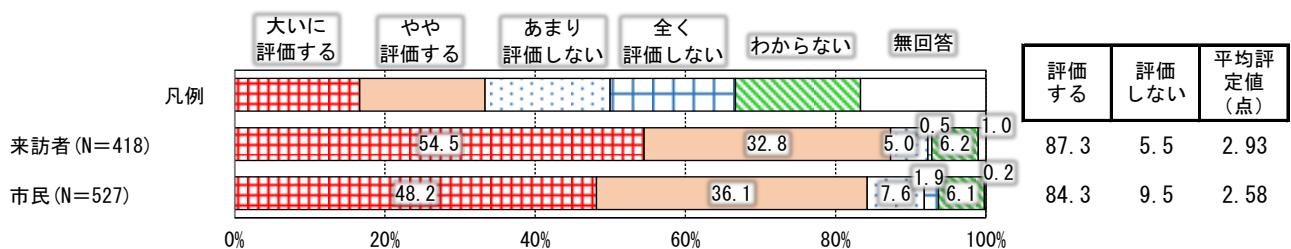
◆あなたは、「来訪者」にも税を課し、まちづくりの財源として活用するこの取り組みをどのように思いますか。(来訪者：問10、市民：問8、駐車場事業者：問5)

来訪者に財源を求める取り組みへの評価についてみると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者が87.3%、市民が84.3%といずれも8割を超え高くなっている。また駐車場事業者は、「評価する」（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）が30件中17件となっており、「評価しない」（「あまり評価しない」と「全く評価しない」の合計）が同10件となっている。

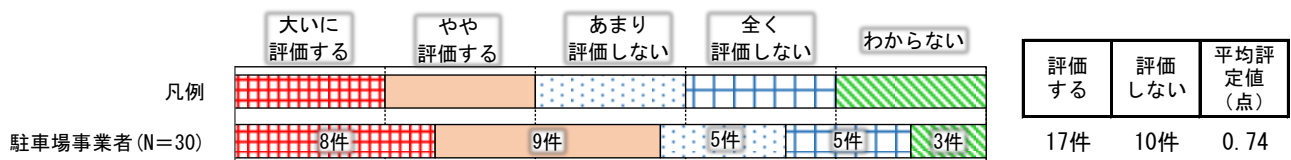
前回調査結果と比較すると、『評価する』（「大いに評価する」と「やや評価する」の合計）は、来訪者、市民とも増加しており、来訪者は6.2ポイント、市民は8.7ポイントそれぞれ増加している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

来訪者に財源を求める取り組みへの評価（来訪者：市民）

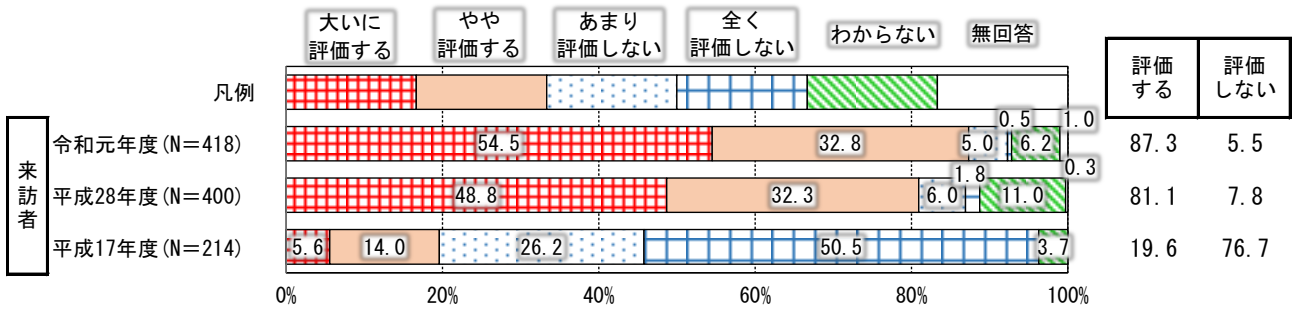


来訪者に財源を求める取り組みへの評価（駐車場事業者）

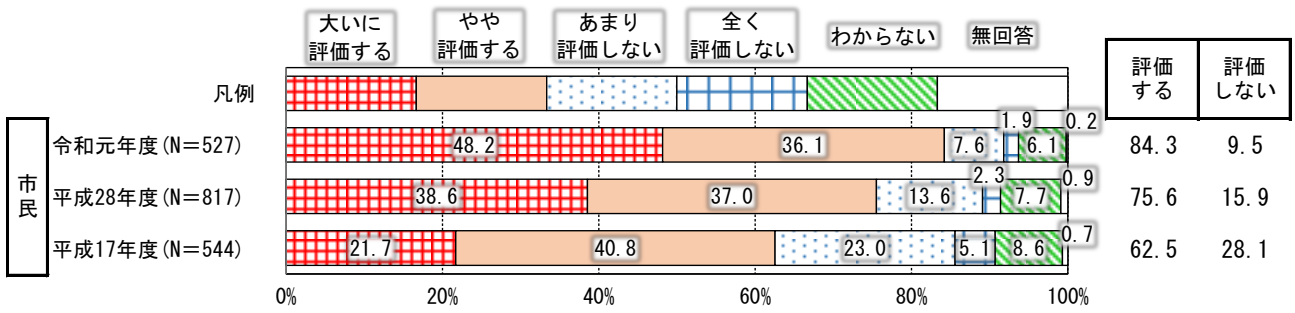


※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

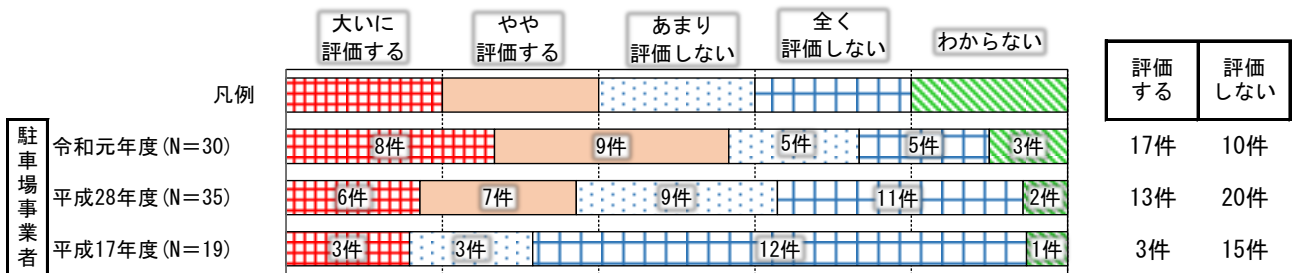
来訪者に財源を求める取り組みへの評価（来訪者時系列比較）



来訪者に財源を求める取り組みへの評価（市民時系列比較）



来訪者に財源を求める取り組みへの評価（駐車場事業者時系列比較）





## 5. 歴史と文化の環境税の今後のあり方

### (1) 今後の継続意向

◆この税制度は、3年ごとに見直しも含めた協議を行っています。この税を今後どうするべきか、あなたはどのように思いますか。(来訪者：問11、市民：問9、駐車場事業者：問7)

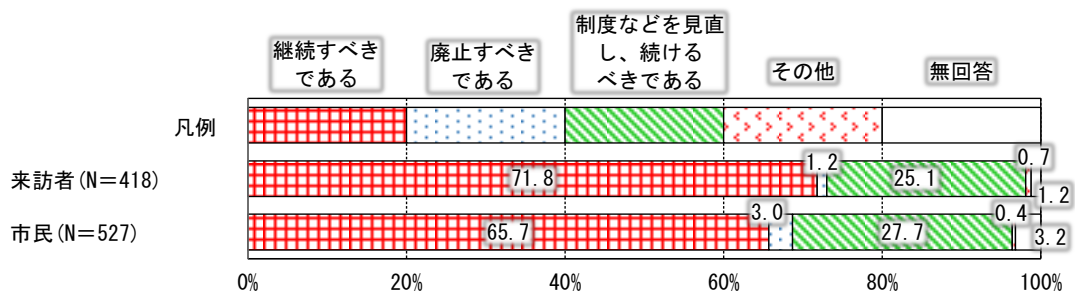
歴史と文化の環境税の今後の継続意向についてみると、「継続すべきである」は、来訪者が71.8%、市民が65.7%と一番多く、次いで「制度などを見直し、続けるべきである」が、来訪者が25.1%、市民が27.7%となっており、「廃止すべきである」は、来訪者が1.2%、市民が3.0%となっている。『続けるべき』（「継続すべきである」と「制度などを見直し、続けるべきである」の合計）については、来訪者が96.9%、市民が93.4%という結果となった。

また、駐車場事業者は、「制度などを見直し、続けるべきである」が30件中11件、「廃止すべきである」が同9件「継続すべきである」が同8件の順となっている。『続けるべき』（「継続すべきである」と「制度などを見直し、続けるべきである」の合計）については、30件中19件という結果になった。

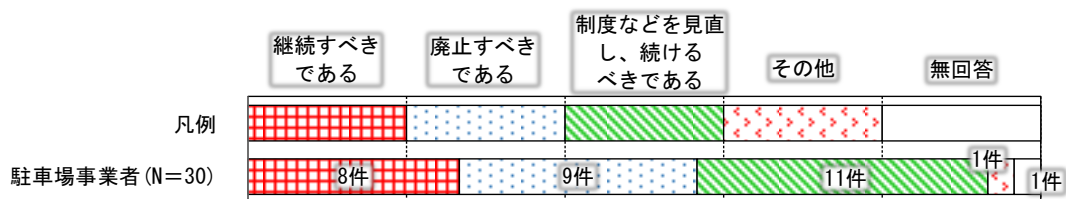
前回調査結果と比較すると、「継続すべきである」は、来訪者は2.2ポイント減少、「制度などを見直し、続けるべきである」は、7.8ポイント増加している。一方、市民は、「継続すべきである」は、5.4ポイント増加し、「制度などを見直し、続けるべきである」は、1.3ポイント減少している。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

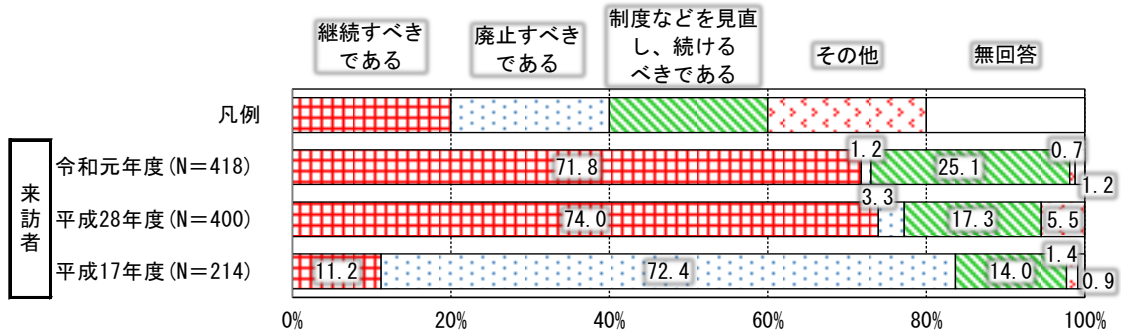
今後の継続意向（来訪者・市民）



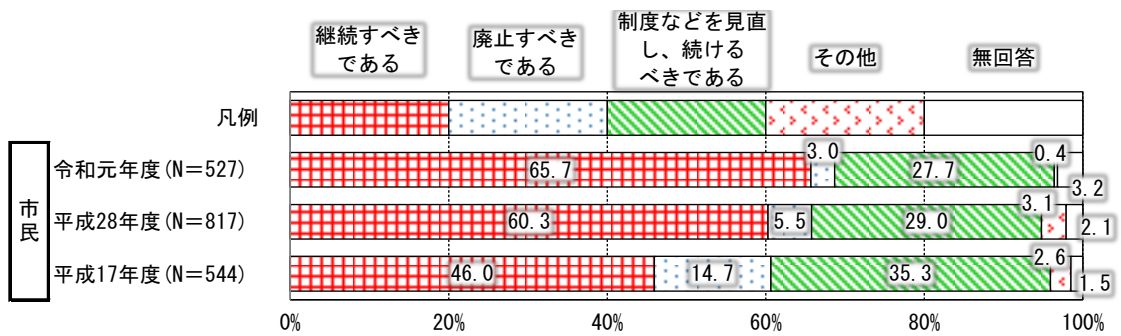
今後の継続意向（駐車場事業者）



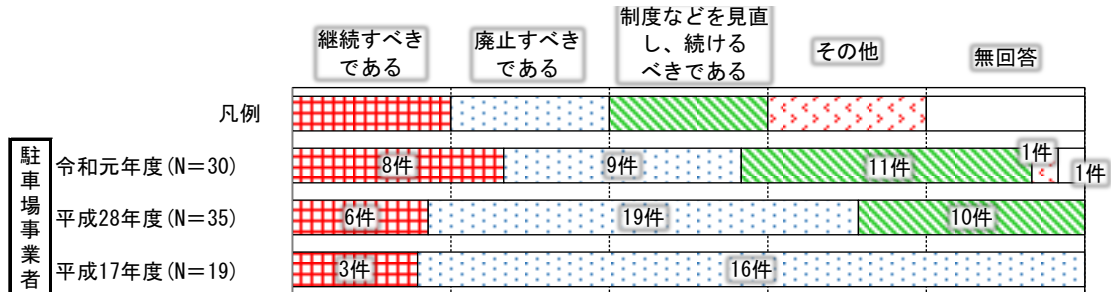
### 今後の継続意向（来訪者時系列比較）



### 今後の継続意向（市民時系列比較）



### 今後の継続意向（駐車場事業者時系列比較）



## (2) 歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価

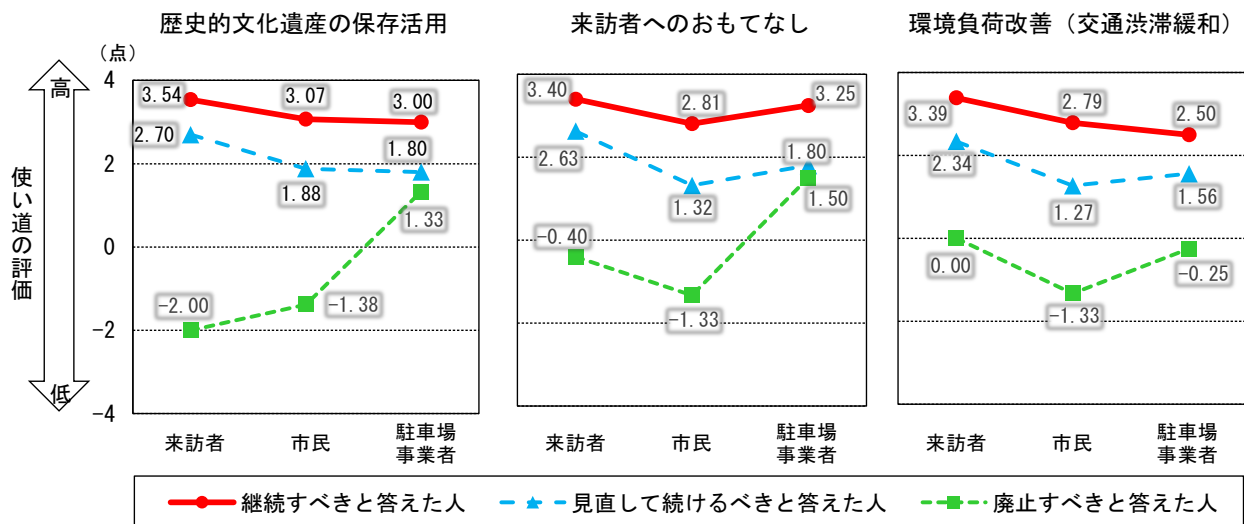
「歴史と文化の環境税を今後どのようにしていくか」の考え方と調査対象者別に、税の使い道の評価を得点化した。

環境税を「継続すべき」と回答した人は、すべてにおいて使い道の評価はプラスとなっている。対象者別にみると、すべての使い道で来訪者が市民と駐車場事業者より評価が高くなっている。

環境税を「廃止すべき」と回答した人は、駐車場事業者の「歴史的文化遺産の保存活用」と「来訪者へのおもてなし」を除き使い道の評価はマイナスもしくは0となっている。対象者別にみると、「歴史的文化遺産の保存活用」と「来訪者へのおもてなし」は駐車場事業者が最も高くなっており、「環境負荷改善（交通渋滞緩和）」は来訪者が最も高くなっている。

環境税を「見直して続けるべき」と回答した人は、すべてにおいて使いみちの評価はプラスとなっている。対象者別にみるとすべての使い道で来訪者が市民と駐車場事業者より評価が高くなっている。

歴史と文化の環境税の今後のあり方別に見た使い道の評価（来訪者・市民・駐車場事業者）



※「平均評定値」については、P4「4. 調査結果利用上の説明」の(8)参照

### (3) 継続すべき理由

#### ◆「継続すべきである」と回答された方

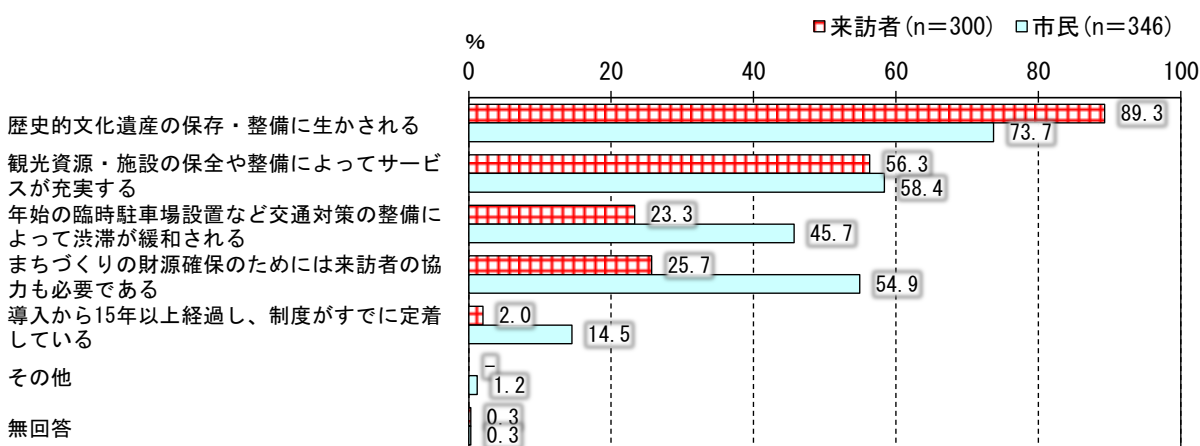
あなたが、この税を今後も継続するべきだと思う理由は何ですか。

(来訪者：問 12、市民：問 10、駐車場事業者：問 8)

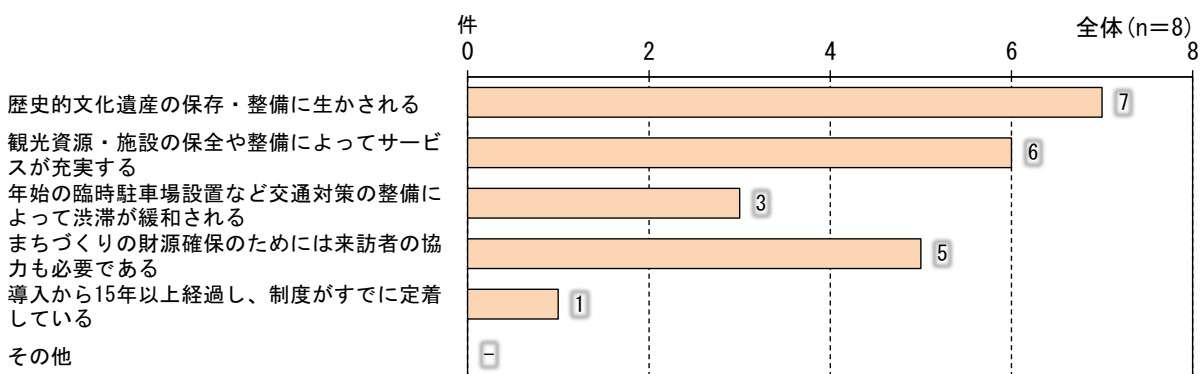
歴史と文化の環境税を継続すべき理由についてみると、来訪者、市民とも「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」(来訪者 89.3%、市民 73.7%) が最も高くなっており、次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」(来訪者 56.3%、市民 58.4%)、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(来訪者 25.7%、市民 54.9%) の順となっている。また駐車場事業者は、「歴史と文化遺産の保存・整備に生かされる」(8件中7件) が最も多くなっており、次いで「観光資源・施設の保全や整備によってサービスが充実する」(同6件)、「まちづくりの財源確保のためには来訪者の協力も必要である」(同5件) の順となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

継続すべき理由 [複数回答](来訪者・市民)



継続すべき理由 [複数回答](駐車場事業者)



#### (4) 廃止すべき理由

##### ◆「廃止すべきである」と回答された方

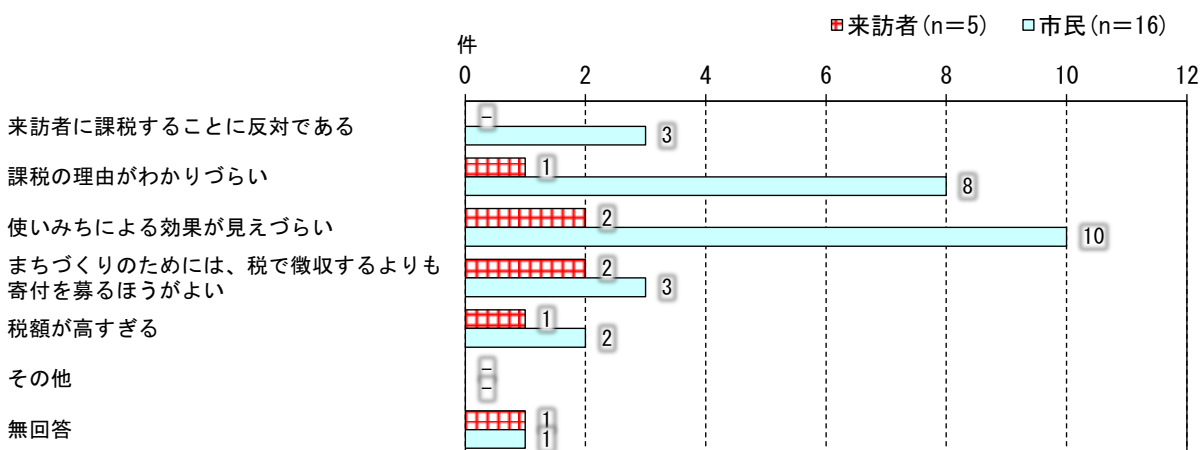
あなたが、この税を今後は廃止すべきであると思う理由は何ですか。

(来訪者：問13、市民：問11、駐車場事業者：問9)

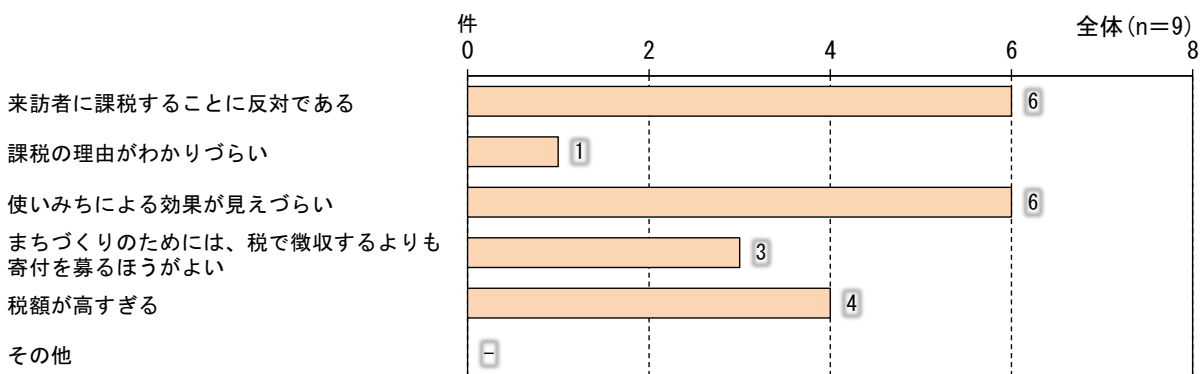
歴史と文化の環境税を廃止すべき理由についてみると、来訪者は「使いみちによる効果が見えづらい」と「まちづくりのためには、税で徴収するよりも寄付を募るほうがよい」がともに5件中2件ずつとなっている。市民については「使いみちによる効果が見えづらい」(16件中10件)が最も多くなっており、次いで「課税の理由がわかりづらい」(同8件)の順となっている。また、駐車場事業者は、「来訪者に課税することに反対である」と「使いみちによる効果が見えづらい」がともに9件中6件となっている。なお、来訪者で「来訪者に課税することに反対である」と回答した人が、今回初めて無かったという結果であった。

※いずれもサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

廃止すべき理由 [複数回答] (来訪者・市民)



廃止すべき理由 [複数回答] (駐車場事業者)



## (5) 見直すべき内容

### ◆「制度などを見直し、続けるべきである」と回答された方

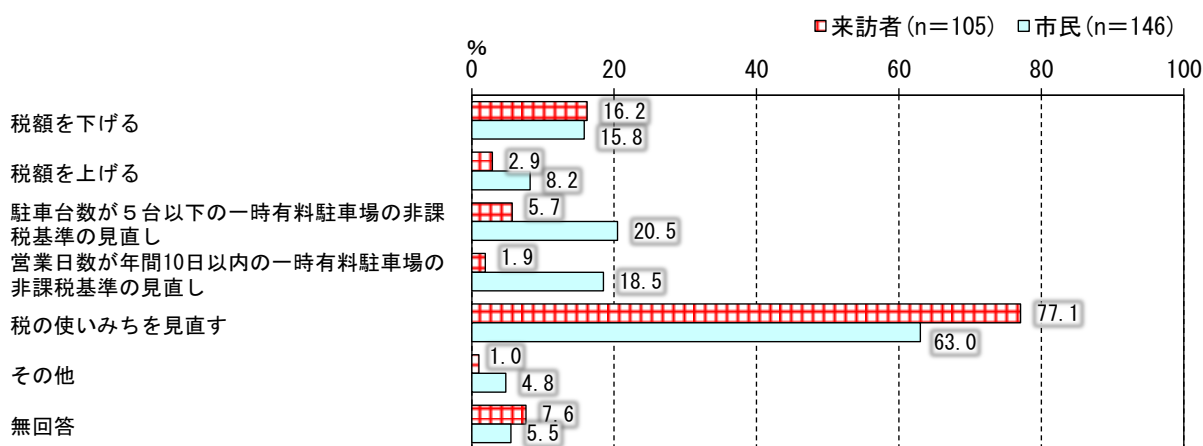
あなたは、どのような見直しが必要だと思いますか。

(来訪者：問 14、市民：問 12、駐車場事業者：問 10)

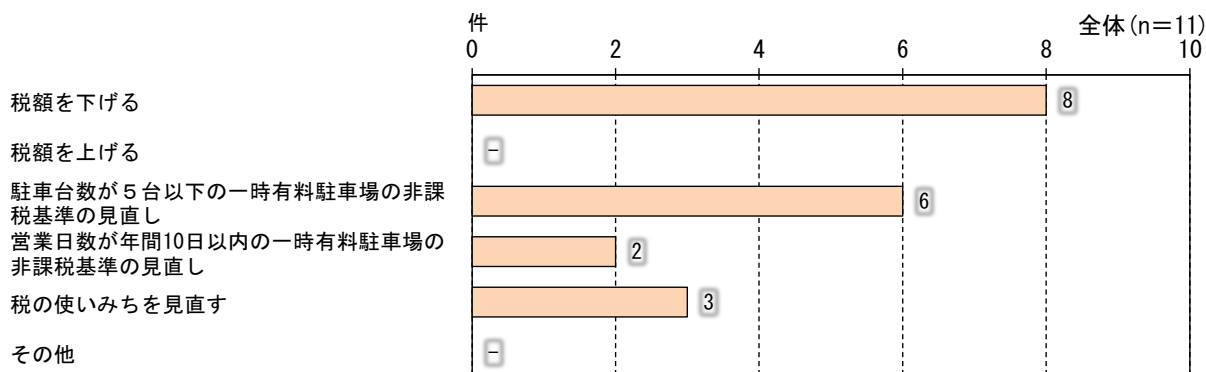
歴史と文化の環境税の見直すべき内容についてみると、来訪者、市民とも「税の使いみちを見直す」(来訪者 77.1%、市民 63.0%) が最も高くなっており、来訪者は次いで「税額を下げる」(16.2%) となっており、市民は次いで「駐車台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」(20.5%) の順となっている。また、駐車場事業者は「税額を下げる」(11件中8件) が最も多く、次いで「駐車台数が5台以下の一時有料駐車場の非課税基準の見直し」(同6件) となっている。

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

### 見直すべき内容 [複数回答] (来訪者・市民)



### 見直すべき内容 [複数回答] (駐車場事業者)



## 6. 歴史と文化の環境税への意見

◆最後に、歴史と文化の環境税についてご意見などがありましたら、お聞かせください。

(来訪者：問 15、市民：問 13、駐車場事業者：問 11)

歴史と文化の環境税について、全体で来訪者から 150 件、市民から 227 件、駐車場事業者から 18 件の意見があった。以下に、主な意見を分類して紹介する。

### 来訪者（駐車場利用者）

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	居住地
◆税の使い道について(69件)		
①文化遺産の保存と活用(24件)		
税を活用して、大いに歴史の保存に使ってほしい。	50～59歳	その他
文化財保護のために財源があるので、この方法であれば正当だと思う。	60～69歳	九州以外の都道府県
文化遺産の保存に税収をあてるのはとても良い発想。誰かが負担していかなければ、存続はあり得ないと思う。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
長く続けて、保存に役立ててほしい。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
②来訪者へのおもてなし(10件)		
設備のために財源があるので、この方法であれば正当だと思う。	60～69歳	九州以外の都道府県
福岡の代表的観光地として美しくして、おもてなしをしてほしいので良いと思う。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
外国人のガイドが日本の文化を教えると良い。日本人のガイドと違いがある。外国人の人にわかってほしい。	70歳以上	九州(福岡県を除く)
海外の人等で観光者が増えているので、トイレの数や誘導等の必要性が高まっていると思う。大いに税を活用してほしい。	30～39歳	太宰府市内
③環境負荷の改善(11件)		
観光客が多いため、混雑を緩和できるように税金を使ってほしい。	50～59歳	その他
使用目的が環境改善・維持のためであれば、良いと思う。	29歳以下	福岡県内(太宰府市を除く)
道が狭い(混む)ので整備し、2車線にする等の取り組みをしてほしい。	70歳以上	九州(福岡県を除く)
④使い道全般について(24件)		
必要な項目もあるが不要なものもあるので、見直す方が良い。	70歳以上	その他
税金だから、うまく明確に使用してほしい。	29歳以下	福岡県内(太宰府市を除く)
街の維持のためには必要だと思う。大いに活用してほしい。	60～69歳	九州以外の都道府県
自然環境が素晴らしい。何度来訪しても心が癒される。ぜひこの環境を維持して、有効に活用してほしい。	70歳以上	九州(福岡県を除く)
◆歴史と文化の環境税の制度について(57件)		
今の税制度を継続して活用してほしい。	29歳以下	福岡県内(太宰府市を除く)
駐車料金が500円は高いと思う。	60～69歳	その他
興味はあるが、税を取られることにはあまり賛成ではない。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
太宰府には産業・工場も少ないので、やむを得ない税法だと思う。	60～69歳	太宰府市内
良い制度だと思う。他県から来ているが応援する。	40～49歳	九州(福岡県を除く)
商売人のため(客呼びのため)の税、商売的に使う税は認めない。	70歳以上	太宰府市内
駐車場の無料化が実現してほしいが、財源にあてているのでとても良い取り方だと思う。将来に継承していくためにも、この税の徴収は継続していくべきだと思う。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)
大いに奨励することだ。もっと多くの金額を取っても良いと思う(駐車場代が安いと思う)。	60～69歳	九州以外の都道府県
財源の補助が年々少なくなっているため、誰かが負担していかなければならないので、大いにいかしてほしい。	60～69歳	九州(福岡県を除く)
◆制度の周知や理解促進(23件)		
皆に理解してもらえば良い取り組みだと思う。	40～49歳	九州以外の都道府県
何に使われているのか明確でないので、もっと公表すべきだと思う。	60～69歳	福岡県内(太宰府市を除く)
もっとアピールして環境税について広く知ってもらうことで、重要性があると納得してもらえると思う。	40～49歳	九州(福岡県を除く)
◆その他(1件)		
同じ県民として応援する。	50～59歳	福岡県内(太宰府市を除く)





市民

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	小学校区
◆税の使い道について(139件)		
①文化遺産の保存と活用(30件)		
もっと若い世代が住み続けたいと思うように、文化遺産の保持にあててもらいたい。	30～39歳	水城西小学校区
太宰府市は日本全国でも歴史の町として知られている。多くの人が訪問しやすい街にしてほしい。	70歳以上	太宰府西小学校区
文化遺産の保存のためには、観光に来る人にも税負担をしてもらっても良いと思う。保存状態が良ければまた人々が太宰府へ足を運んでくれて、市がより良い状態になると思う。太宰府の良さをたくさんの人に知ってもらいたいと思う。	70歳以上	太宰府小学校区
文化遺産は常に整備しないと荒れる恐れがあると思われるので、そのためには環境税も必要だと思う。	70歳以上	国分小学校区
あまりいい感じは受けなかったが、文化遺産の保存活用等、きめ細かな対応をしている。いいことに使われているのならこれもありかと思う。	60～69歳	水城西小学校区
現在ある文化財の保存で充分。	50～59歳	水城西小学校区
②来訪者へのおもてなし(37件)		
案内ボランティアの充実。案内板の充実。	50～59歳	太宰府西小学校区
観光で来る来訪者のための施設について、住民だけで負担するのはおかしいと思う。	60～69歳	国分小学校区
観光案内版はわかりにくい所が多いと感じる。よく道を尋ねられるようになってきたが、特に政庁跡から天満宮、政庁跡から水城に行く方法、坂本八幡宮の場所等を知らせてほしい。来訪者へのおもてなしではちょっと休憩する場所等があれば、もっと観光の人達も嬉しいのではないかと思う。	50～59歳	水城西小学校区
来訪者達が楽しんで観光できるよう、きれいなまちづくりを継続してもらえたら良いと思う。	60～69歳	太宰府小学校区
公衆トイレの新設。	60～69歳	太宰府東小学校区
歩いて回れる、車で回れる等、いろいろなパターンのお勧めガイドブックやパンフレットがあると良い(親子でも楽しめるもの、少し詳しい解説付きのものなど)。	50～59歳	太宰府東小学校区
VRや3Dで古都の景観を見られるアプリ等があると楽しそうである(もうあるのかもしれないが)。	30～39歳	太宰府小学校区
Wi-Fi、トイレは必要だが、ライトアップや並木づくりまでしなくて良い。	50～59歳	水城西小学校区
③環境負荷の改善(45件)		
市内に流入する車両が増えることで市内の交通が麻痺するので、市外の駐車場を使い、バス等で市内に案内した方が良くないか。そのバスの乗車賃に税金をかけ、パークアンドライドの整備費用にあててはどうか。	40～49歳	国分小学校区
環境税について言うことはないが、交通渋滞は早く何とかしてほしい。	70歳以上	太宰府東小学校区
年末年始等の渋滞緩和と同時に、住民の通行の確保などがあれば、税の活用を実感しやすい。	30～39歳	太宰府小学校区
渋滞についても、やはり交通誘導をしてもらわないと住民も含めてとても困るし、来訪者が負担することも当然だと考える。	60～69歳	国分小学校区
道の拡張や整備もお願いしたい。	40～49歳	国分小学校区
交通監視システムの充実、維持管理。木を切ってほしい。見えない時がある。	40～49歳	水城西小学校区
観光客のためだけでなく、市民の暮らしを守るために集まった税を使ってほしい(渋滞対策、道路整備など)。	40～49歳	太宰府西小学校区
④使い道全般について(27件)		
観光地としてのきれいなまちづくりや、見知らぬ人が多く集まり行き交う場所でも治安が守られ、地元の人が安心して観光客を快く迎え入れられるように街を整えてくれることは、本当に有り難いことだと思う。	40～49歳	水城西小学校区
観光需要の多い今こそ、税を財源にして来訪者対策を整備すべき。	30～39歳	太宰府西小学校区
環境を整えることは必要であるが、5ヶ国語のパンフレットの中に海外の人達へのマナーについても記してほしい。	70歳以上	太宰府南小学校区

## 市民（つづき）

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)	年齢	小学校区
<b>◆歴史と文化の環境税の制度について(47件)</b>		
個人的には太宰府の環境が発展して、良い制度だと感じた。	30～39歳	太宰府小学校区
今後の経過を見守りたい。	70歳以上	太宰府西小学校区
歴史文化を保全するために、来訪者が税負担することには賛成。	50～59歳	水城小学校区
太宰府市民は減税してほしい。	50～59歳	無回答
市民だけの税収では無理なので、来訪者からの協力は必要。	40～49歳	国分小学校区
観光資源、施設の保全や整備の資金として正しく使われているのであれば、このまま継続して良いと思う。	60～69歳	水城小学校区
3年ごとの見直し時に上がってきた問題等を協議しながら、変化させていけば良いと思う。	50～59歳	無回答
日本人は一般的に寄付行為をあまりやらないので、こういう形(税金)でないと集められないかもしれない。	60～69歳	太宰府東小学校区
来訪者に課税する考え方が間違っている。特に多くの観光客が移動できるバスに対しての課税率が高すぎる。渋滞解消にはバス利用の方が良策だと思うが、太宰府市は団体での来訪を歓迎していないように思われる。	60～69歳	太宰府小学校区
<b>◆制度の周知や理解促進(17件)</b>		
財源をどう使ったか、もっとわかりやすく提示してはどうか。ホームページに公開しているとのことだが、ホームページを見られない人もいると思う。	70歳以上	水城小学校区
歴史文化を保全するために、来訪者が税負担することへのアピール度が小さいような気がする。	50～59歳	水城小学校区
環境税によって改善、設置されていることの表記、告知をもっと積極的に行った方が良いと思う。	50～59歳	太宰府小学校区
<b>◆その他(24件)</b>		
観光客が気軽に寄付できるような募金箱を天満宮に設置してはどうか。	40～49歳	太宰府南小学校区
太宰府の将来の発展にとって、歴史的遺産が障害にならないようにしてもらいたい。	50～59歳	水城小学校区
令和となり、かつてない財源確保のチャンス。日本全国からたくさんの人達が訪れているので、しっかりと財源確保の施策を行うべき。ただでさえ企業が少ないので、しっかりと検討実施をお願いしたい。市民に少しでも還元してもらえたら良い。	30～39歳	水城小学校区

## 駐車場事業者

歴史と文化の環境税への意見(主な意見)
<b>◆税の使い道について(3件)</b>
<b>③環境負担の改善(1件)</b>
交差点に誘導員を配置しているが、誘導の仕方がわかっていないので非常に邪魔。配置する人から教育すべき。
<b>④使い道全般について(2件)</b>
これだけ人が集まる観光地でありながら1回の駐車が@500程度ということで、特に県外からの来訪者は喜んで帰って来る。この人達がリピーターとなって必ず訪れる。交通アクセスと駐車代が安く、来訪者は減らないと思うので、環境税を有意義に使ってほしい(もちろん食べる所も多い)。
税の使い道について評価はするものの、交通誘導員の質やパンフレットを無駄に作りすぎていないかなど、細かいところは気になる。
<b>◆歴史と文化の環境税の制度について(4件)</b>
時間貸し駐車場の運営会社である。この制度で利用者に負担して頂くため全体的に単価が高くなり、結果、観光客に負担が大きいように思える。「駐車場待ちの車両の抑制」で、なぜ大規模駐車場事業者だけなのか。大なり小なり、収めている税金は一緒ではないか。駐車場運営者(駐車場利用者)に対する還元性が見えてこない。
税額設定について、利用料の〇〇%という考えもあると思うので、検討願う(最小単位は10円単位)。
環境税運営の現状を鑑み、今までのような運用のあり方では難しく、今後は効率的運用策を考えていかなければならないと考えられる。我々駐車場組合の意向では、環境税の当初の目的は既に達成しており、近い将来廃止すべきだと考えている。当面は下記のような対策を進めながら、行政が全面的に環境事業を肩代わりできるまで協力していきたい。いつまでも駐車事業者に負担をかける事業ではないと考えられる。その対策として、環境整備事業基金の区分別充当割合の見直し。一般財源等への環境負担削減事業の移設充当(本来市の予算でやる事業)。不安定な環境税に対し、計画支出に努め、貯蓄を励行する(最近基金残高を常時1億円確保のために運用見直し検討)。環境税納税先の拡大。駐車場事業者の再調査(最近新設駐車場が増えている)。
環境税について、利用者から質問されて困ったことがあった。駐車料が400円と500円の所があるが、なぜなのか。環境税の取り組みに参加しない駐車場や5台以下は非課税など、わかりにくい制度となっている。

## 7. 特別徴収事務について

◆「歴史と文化の環境税」の徴収事務（特別徴収）についてどのように思われますか。

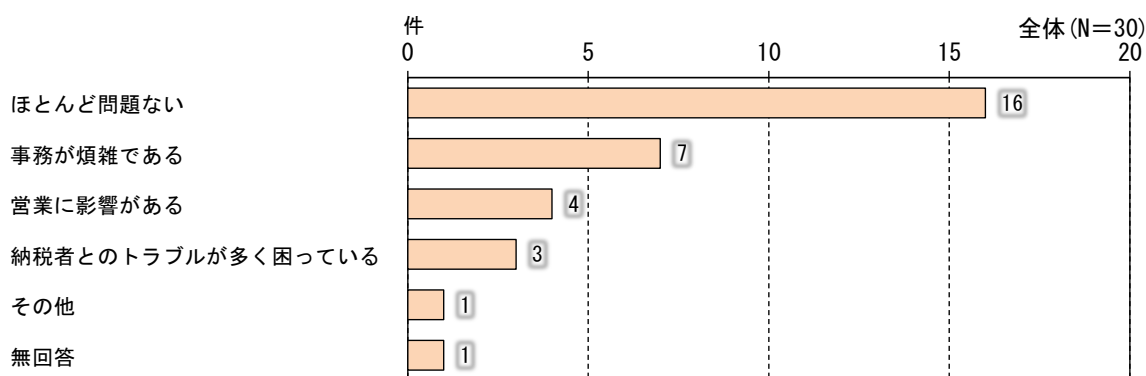
（駐車場事業者：問6）

※駐車場事業者はサンプル数が少ないため件数での掲載とする。

駐車場事業者が「歴史と文化の環境税」の特別徴収事務（特別徴収）についてどのように思うかについてみると、「ほとんど問題ない」（30件中16件）が最も多くなっており、次いで「事務が煩雑である」（同7件）の順となっている。

前回調査と比較すると、「ほとんど問題がない」が最も多い傾向は変わっていない。

特別徴収事務について [複数回答]



特別徴収事務について [複数回答] (時系列比較)

